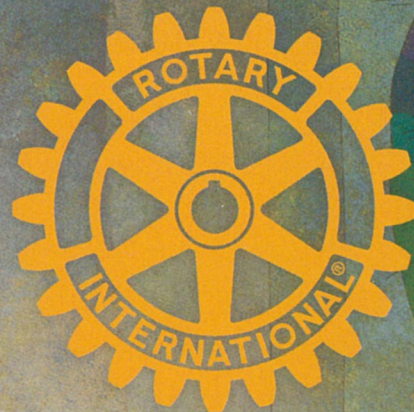


# THE ROTARY-NO-TOMO

## ロータリーの友

# 4

2018  
APRIL  
VOL.66 NO.4



夢を諦めない、約束を守ろう  
ポリオ撲滅まであと少し

特集  
メイクアップのすすめ

Rotary





FULL HEIGHT DOOR®

日本の伝統工芸をモダンにアレンジ  
「格子戸デザイン」のフルハイトドア

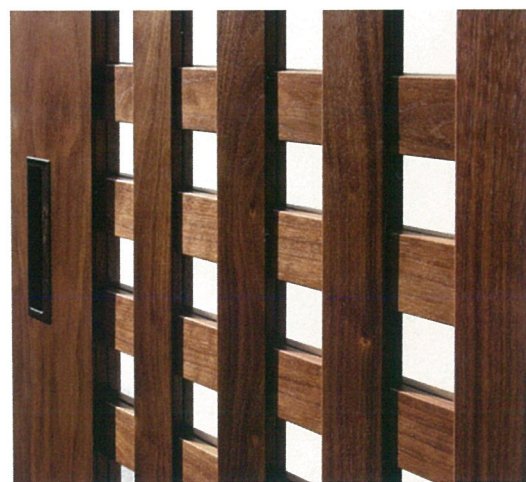


ZK-1 型 (NO)

## 黄金比がもたらす美しい陰影が 空間を演出。

格子戸は空間を完全に断ち切らない、程よい仕切りとして使われてきた、和の文化を象徴する機能美の扉です。KAMIYA では天然銘木の格子を黄金比率で組み、和洋を問わず空間をハイエンドに演出するモダンで高級感のあるドアに仕上げました。木肌の美しい格子から漏れる光が床や壁を柔らかく照らします。

※ZEN style/ 格子戸デザインは神谷コーポレーション・横浜ショールームでご覧頂けます。



古代ギリシャ以来、最も調和的で美しいとされる比率『黄金比』を用いて格子をデザインしております。

商品のお問合せは神谷コーポレーション「Shonan Office」まで

TEL 0463-94-6203

フルハイトドア

検索

神谷コーポレーション株式会社 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川50 URL [www.kamiya-yokohama.co.jp/](http://www.kamiya-yokohama.co.jp/)



フルハイトドアの  
神谷コーポレーション



## 地球にはロータリーが必要です

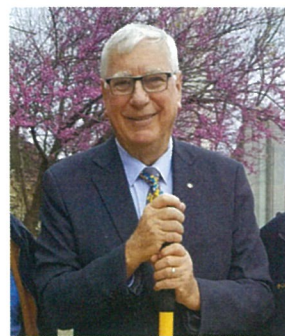
親愛なるロータリアンの皆さま、オレゴン州ポートランドで開催された1990年ロータリー国際大会で、当時のパウロ・コスタ国際ロータリー会長エレクトは、「今こそ、ロータリーが声を上げ、リーダーシップを発揮し、すべてのロータリアンに自然資源を守るための名誉ある聖戦へ参加するよう、促す時です」と集まったロータリアンに語り掛け、「われらの天体 地球の保全」という環境保全プログラムを立ち上げることを宣言しました。これは、木を植え、空気や水質の浄化に努め、未来の世代のために地球を守ろうと、環境問題を奉仕活動に組み込むよう呼び掛けたものです。

コスタ氏は、当時の110万人の会員一人一人が1本の木を植えようと呼び掛けました。私たちロータリアンは常にそうであるように、会長エレクトの呼び掛けを上回る結果を出しました。彼の会長年度の末までに3,500万本近い数の木を植えたのです。この時植えられた木の多くは、現在、二酸化炭素を吸収し、酸素を生み、大気を冷やし、土壌を整え、鳥や動物、昆虫の生息する場所と食べ物を生みだし、他にもさまざまな形で環境に貢献し続けています。これらの木々が環境に貢献している一方で、残念ながらロータリー全体としては環境問題への取り組みを進めてきませんでした。

そのため、今年度が始まった時、私はコスタ氏に倣って会員一人一人が少なくとも1本は植樹するよう呼び掛けました。私の狙いは、120万本（またはそれ以上）の木がもたらしてくれる数多くの利点を越えたところにあります。植樹をすることで、ロータリーが再び取り組むべき地球の現状という問題に、ロータリアンが関心を新たにしてくれることを期待しているのです。

環境問題は重点分野の全てに深く関係しており、ロータリーが黙視するわけにはいかない問題です。公害は世界中の人々の健康を脅かしています。都市部に住む人の80%以上が安全ではない空気を吸っており、その数は低・中所得国では98%にも上ります。現在の状況が続くと、海の中の重量で比べた場合2050年までに魚よりもプラスチックが多くなることとなります。また、気温の上昇を示す記録は数多くあります。1880年から2015年までで、世界の平均気温は1.1度上昇しました。この変化が人類によるものであるかどうか、また、この傾向がそのまま続けばどれほど莫大<sup>ばくだい</sup>な経済的影響をもたらす、生活への影響が生じるかということは、科学者が論じるまでもありません。行動を起こす必要は、これまでになく高まっています。そして、真<sup>マコト</sup>の変化をもたらすロータリーの力の必要性も。

前国連事務総長の潘基文氏が言うように、「地球の代わりになる代替惑星はないのだから、代替策もあり得ない」のです。私たちの惑星は私たちみんなのものであり、さらには私たちの子どもやそのまた子どもたちのものでもあります。この惑星を守るのは私たち全員の仕事、変化をもたらすのは私たちロータリアンの仕事です。



イアン H. S. ライズリー  
R I 会長の最新情報はこちら  
<https://my.rotary.org/ja/news-media/office-president>

Ian H. S. Riseley  
2017-18年度 国際ロータリー (R I) 会長



ロータリー:  
変化をもたらす



ロータリーの友  
Home Page  
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

原文 (英語) はこちらから



RI 会長メッセージ ..... 3

**RI 地球にはロータリーが必要です**

RI 会長 イアン H. S. ライズリー

## 特集

**夢を諦めない、約束を守ろう**

——ポリオ撲滅まであと少し—— ..... 7

**ワクチン投与活動に参加して**

Hyogo ロータリー E クラブ 福山太一

**私がポリオ撲滅活動を続ける理由**

弘前アップルRC 関場慶博

**ポリオ撲滅で**

**私たちにもこんないいことが**

ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター（第3ゾーン） 松本祐二

6 ● ロータリーとは

30 ● パズル de ロータリー / 1月号の答え

32 ● エバンストン便り

33 ● 財団管理委員長の思い **RI**

34 ● お知らせ 新クラブ / 2018 - 19 年度版ロータリー手帳の  
ご案内 / 地区別クラブ数・会員数一覧表 / 『友』5月号主要記事  
予定

35 ● 日本ロータリー分布図 / 奥付

36 ● 投稿規定（ご投稿をお待ちしています！）

## 特集

**メイクアップのすすめ** ..... 12

**国内最大の受け入れ態勢とその役割**

東京RC 遠山明良

**憧れの東京RCの例会で感じ取ったこと**

宇都宮陽東RC 佐貫直通

**クラブへの愛着と積極的なメイクアップ**

大阪RC 薩摩和男

**好奇心が原動力に** 宮崎北RC 原田寛太郎

**姉妹クラブは世界最古のシカゴワシントン**

東京西RC 田沼千秋

**勇気を出して話すことの大切さ**

小野加東RC 西村勝彦

**日本とは異なる雰囲気**

**例会を楽しむ！** 新所沢RC 中川 潤

**海外メイクアップ事情とお勧めツール**

名古屋和合RC 福田哲三

RIのウェブサイト

**クラブ検索機能を使ってみよう！**

**メイクアップFAQ**

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友  
Home Page  
www.rotary-no-tomo.jp





## 4月は母子の健康月間です

## 視点 ガバナーのロータリー・モメント ..... 18

第2600地区 関 邦則／第2610地区 下口幸雄／  
第2620地区 松村友吉／第2630地区 田山雅敏／  
第2750地区 猿渡昌盛／第2760地区 神野重行／  
第2780地区 大谷新一郎／第2640地区 岡本 浩

## World Roundup ..... 22

世界のロータリーニュース THE ROTARIAN 4月号から

## 心は共に ..... 24

熊本地震

肥後大津RC 桑住賢二郎・小田原北RC 大川耕作／  
京都嵯峨野RC 村田信也／西天草RC 山口 徹

## NEW GENERATION ..... 26

元青少年交換学生 吉田 翼／

青少年交換学生 ローレン・オーエンス

## よねやまだより ..... 27

## 次の50年に向けた記念すべき一歩に

——財団設立50周年記念式典に約700人が参加——

## CLUB INNOVATION ..... 31

アメリカ セントラルオーシャントムズリバーRC

THE ROTARIAN 4月号から



ポリオが撲滅されたインドでは“Keep India Polio Free（ポリオのないインドを保とう）”キャンペーンを実施。日本からも会員が、ワクチン投与のために現地を訪れました（P7～11）

ロータリーの友  
委員会

委員長 清水 良夫（横浜）  
副委員長 片山 主水（名古屋東南）  
RI理事 斎藤 直美（豊田）  
RI理事 石黒 慶一（鶴岡西）

特別顧問 神崎 正陳（茅ヶ崎湘南）  
上野 孝（横浜）  
安平 和彦（姫路）  
片岡 信彦（土浦南）  
橋本 長平（京都東）

顧問 田中 政春（長岡西）  
岡部 一輝（南砺）  
庄司 尚史（境港）  
松坂 順一（東京葛飾東）  
服部 陽子（東京広尾）

地区  
代表委員

2500 松井 文（網走）  
2510 藤井 方雄（函館）  
2520 笹氣光壽郎（仙台）  
2530 渡邊 宗徹（白河）  
2540 村越 正道（能代）  
2550 加藤 勝朗（宇都宮東）  
2560 木村 廉平（新潟万代）  
2570 大澤 衛（朝霞キャロット）  
2770 星野 時夫（大宮中央）  
2790 根本 健一（柏）  
2800 若月 仁（寒河江）  
2820 神生 恭利（石岡）

2830 折居 祐二（十和田）  
2840 市村 信也（藤岡南）  
2580 石川彌八郎（東京福生）  
2590 山本 邦近（横浜西）  
2600 林 武雄（長野）  
2610 大和 謙市（加賀）  
2620 多々良 匡（焼津）  
2630 戸上 宗賢（上野東）  
2750 井村 廣巳（東京日野）  
2760 尾本 和弘（名古屋東南）  
2780 伊与田あさ子（横須賀北）  
2640 井手 良明（和歌山城南）

2650 室 公博（京都東）  
2660 藤田 弘道（大阪東）  
2670 三浦 聖人（観音寺）  
2680 村野 利昭（神戸西）  
2690 横田 直樹（倉敷南）  
2700 高山 卓也（宗像）  
2710 宮本 民子（岩国中央）  
2720 山田 哲大（熊本）  
2730 菅沼 龍夫（宮崎北）  
2740 北島 恭一（佐賀南）

編集長 野崎 恭子



## ロータリーとは

### ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,784、会員総数1,230,399人（2017年11月30日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

### 日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,262、会員数89,581人（2018年1月末現在）となっています。

## 2017 - 18 年度 R I テーマ



ロータリー：  
変化をもたらす

## ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか





夢を諦めない、約束を守ろう

——ポリオ撲滅まであと少し——





# ワクチン投与活動に 参加して

Hyogo ロータリーEクラブ 福山 太一

## 今回が最後のポリオワクチン投与活動になるかも

私は、かつて高校時代にインターアクトクラブ、大学時代にはローターアクトクラブに所属していました。そして縁あって母校の滝川中学校・高等学校に奉職、現在はインターアクトクラブの顧問を務めています。

ポリオ撲滅活動へは、これまでインターアクトでのポリオプラス募金などで関わってきていましたが、より明確に意識するようになったのは、2012年にタイ・バンコクで行われたロータリーの国際大会にRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）学友として派遣された時でした。会場の至るところに“We Are This Close（あと少し）”キャンペーンのポスターが掲げられ、基調講演では、世界各地でロータリアン自らがポリオワクチンの投与を行い、ポリオ撲滅まであと一息だということが力強く述べられていました。さらに当初不可能と言われていたインドでのポリオ撲滅が達成されつつある

ことを聞くに及び、ロータリーの可能性を再確認するとともに、もし、自分が将来ロータリアンになることができたなら、ぜひこの活動に参画したいと考えていました。

そして月日は流れ、私はHyogo ロータリーEクラブの会員となりました。新米ロータリアンとしてまだまだ四苦八苦している状況ですが、ポリオワクチンの投与活動が今回で最後になるかもしれないと耳にし、慌てて今回の活動に参加を申し込みました。私にとって初めての、そしていよいよ夢がかなったと胸を膨らませての渡印となりました。

## ポリオのないインドを保とう！

私たちが今回ワクチン投与のために向かったのは、ウッタル・プラデーシュ州ガーズィヤーバード。2018年1月28日から3日間にわたって活動しました。初日の午前中は、翌日のN I D s（National Immunization Days 全国予防接種日）の啓発のために、地元にあるJ. K. G インターナショナルスクールの生徒と共に市内のパレードを行いました。この学校は地元のロータリアンが設立した、保育所から高校3年生相当までの一貫教育の大規模校です。

この日は祝日でしたが、中高学年の生徒が参加し、ドラムのリズムに合わせながら「Keep India Polio Free!!」の掛け声とともに行進を行いました。国は違えど、やはり生徒は皆、元気いっぱい。学校の先生の厳しい視線を横目に、のびのびと行進していました。

午後は、ニューガーズィヤーバード・ロータリークラブ（RC）主催のレセプションが行われ、





## 私がポリオ撲滅活動を続ける理由

40年前、西アフリカ・ガーナの街通りで、路面を這いながら、行き交う人々にお金をねだっている下肢が麻痺した子どもたちと出会った。国際協力事業団から小児医療専門家として派遣された私は、栄養失調症、マラリア、破傷風、腸チフスなど、日本では見たことがなかった病気と出会う毎日だったが、とりわけポリオとの出会いは衝撃的だった。クワシ君という12歳のポリオサバイバーと私は仲良くなった。彼は松葉づえで敏捷に動くことができ、サッカーが大好きだった。麻痺した足だったが、少し残存した運動機能でボールをкаろうじて蹴ることができた。「ガーナの子どもたちが僕のようにポリオにならないようにしてほしい。約束してね」「わかった、約束する」

私は2001年に初めてインドでのポリオワクチン投与活動へ参加した。その後、日本の多くのロータリアンと共に今日まで毎年参加している。初めてインドのスラム街でポリオワクチン投与を行った時、トイレもない糞尿垂れ流しの衛生環境下ではポリオ撲滅は無理だと思った。それでも毎年ワクチン投与活動へ参加していたのは、クワシ君との約束を

弘前アップルRC 関場 慶博



守るためだ。ガーナまでは行けないが、インドでポリオをなくし、世界からポリオをなくすことはガーナの子どもたちをもポリオから救うことになるのだから。国際ロータリー(RI)は「子どもたちの命と未来を守る」と、世界の子どもたちにポリオ撲滅を約束している。

困難だと思われていたインドでのポリオ撲滅が2014年に達成された。これが世界のポリオ撲滅活動に希望と勇気を与えた。諦めずに皆で協力しあえば不可能なことはない、夢を諦めない、このことを改めてインドでのポリオ撲滅活動から学んだ。ロータリーの夢「ポリオ撲滅」、その達成まであと少しである。

(第2830地区 2000-01年度ガバナー)

今回のNIDSのために訪印した日本、ベルギー、オーストラリア、韓国のメンバーが交歓を深めました。レセプションでは、まずインドにおけるポリオ撲滅活動についての基調講演があり、その後は参加各国のパフォーマンスなどさまざまなプログラムがありましたが、その中でもオーストラリアチームのゲイリー・ニュートン氏のスピーチは印象に残りました。彼は幼年期にポリオに罹患、足が不自由になりましたが、自らを「ポリオサバイバーであり、今はポリオ撲滅のために闘うポリオフィーター」と述べました。オーストラリアだけでなく、世界中の子どもたちのために活動している姿に大変感動しました。

2日目は、いよいよNIDS当日。街頭でポリオワクチンを投与しました。日本チームは朝から2~4人の小グループに分かれて、ガーズィヤーバード各地に設置されたワクチン投与ブースに向かいました。初参加とな

る私と姫路ローターアクトクラブの春木優杏君は、経験者の八戸RCの築館智大氏、小林幹夫氏と一緒に幹線道路に面したブースに入りました。

ピンクの布に覆われた屋台のようなブースでは、現地のロータリアンや保健師と協力して活動を行うのですが、繁華街の幹線道路に面した場所にあるため、車は行き交うものの、初めはなかなか子どもが来ずに、何もせずに活動が終了してしまうのではないかと不安になりました。しかし、しばらくすると小さな子どもや赤ちゃんを連れた親御さんが来るようになり、経口ワクチンの投与が始まりました。

見慣れぬピンクの帽子と黄色いポリオシャツを着た一見、怪しげな大人に顔を押しえられて、泣く赤ちゃんや小さな子もいましたが、皆で協力してなんとかアンプルからワクチンを口内に滴下することができました。たった2滴のワクチンですが、子どもたちをポリオ罹患





の心配の低い地域、男性はスラムの深部での活動を行うことになりました。私は、弘前西 R C の成田俊介氏、益田西 R C の松本祐二氏、天童西 R C の高橋寛人氏とチームを組みました。

から守ることができます。子どもたちの未来を祈りながら投与を続けました。また、ワクチンを受けた子どもには、ご褒美に日本からのお菓子とおもちゃを渡すのですが、それらを手にした子どもたちのうれしそうな顔を見た時には、こちらまでうれしくなりました。

日本チームの活動は、朝から昼過ぎまでおよそ 3 ～ 4 時間ほどの活動でしたが、私たちのブースでは、60 人を超える子どもにワクチンの投与ができました。下町の住宅密集地にあるブースでは、500 人を超えるところもあったそうです。

### 足りないのはポリオワクチンだけではない

3 日目は、戸別訪問でワクチンの投与を行いました。朝もやの中ホテルを出発し、地元のロータリアンと打ち合わせた後、スラム地域へ。市内の大渋滞を抜けてようやくその地域に到着したのですが、スラムとは聞いてはいたものの、目前に広がる景色は想像をはるかに超えてあまりにもひどく、メンバーは一様に息をのむほどでした。

以前、私が訪問したタイのスラムと比べてみても、住居はさらに粗末で環境は劣悪です。上下水道などは無論整備されておらず、汚水は垂れ流しの状態。一面に廃棄物が広がり、鼻腔を刺激する悪臭が立ち込めていました。

私は災害支援ボランティア活動で被災地を訪問したことがあります。眼前の風景は自然災害とはまた違った厳しさがありました。そのような環境下で、スラムに住む人は日常生活を営み、子どもが笑顔で遊んでいる様子に、少なからずショックを受けました。

事務方を務める陸前高田 R C の永田雄治氏いわく、これまでの日本チームの活動で最も劣悪な環境下にある場所での活動だったようです。当初は 4 人の男女混合グループでの活動を予定していましたが、治安の面でも心配があったため、危機管理上、男女別グループに再編し、女性は比較的治安

実際の投与は、世界保健機関（WHO）の職員である保健師と共に行いました。スラムを回って小さな子どもがいらないか一軒一軒に声を掛けていき、子どもが見つかれば、左手小指に投与済みの目印である紫のマーカーがあるか確認。マーカーがない子どもにポリオワクチンを経口投与するという流れです。地道な活動ですが、子どもたちの未来を切り開くための大事な作業です。

嫌がる子どももいたものの、スラムの住人の皆さんは協力的で、スムーズにワクチン投与を行うことができました。私たち男性のグループは、4 人で歩く限りは特に危険を感じませんでしたが、女性グループの中には、体を触られたり髪を引っ張られたりといういたずらに遭った人もいたようです。こういったことは今までなかったそうなので、危機管理を考える上で、スラムでの活動の難しさを感じました。

また、スラム内にもかなりの格差があるようで、奥に進めば進むほど、より貧しい状況にあるようでした。そこでは下着すら着用していない幼子が多数見られました。また母親のタンバリンのリズムに合わせて踊り出す女の子にも出会いました。われわれを歓迎しているのかと思いきや、ひととおりの踊りが終わるとお金を求められ、ここでの生活の厳しさを再認識することとなりました。

スラムを歩きながら感じたのは、ポリオワクチンだけでなく、日常生活のあらゆる面での支援が行き届いていないということです。あっという間に予定した 1 時間





半余りの活動は終わってしまい、さまざまな課題を目前にしながらかの地を後にするのは、本当に心残りでした。

わずか3日間のNIDSの活動で、全てを理解できたわけではありませんでしたが、私にとってそれぞれが意味のある活動でした。特に最終日のスラムでの活動の衝撃は、心に深く刻まれました。そして問題が山積する中で、ここにまた来なければいけないと感じました。また、今回の参加だけで終わらせず、私の知り得た情報と

経験を、地区にいかに伝え、今後の活動につなげていくかが私の次の課題となりそうです。

このような貴重な経験の機会を与えてくださったチームリーダーの関場慶博先生や永田氏、地元ロータリアンの皆さんには感謝の念に堪えません。ポリオのない世界の実現に向けて、今後とも微力ながら貢献できればと考えています。

(第2680地区 兵庫県)

※写真は全て、ポリオワクチン投与活動参加者からの提供です。

## ポリオ撲滅で私たちにもこないことが

ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター (第3ゾーン) 松本 祐二 (益田西RC)

「日本国内で2017年に生まれた子どもの数は、約94万人。この子どもたちに不活化ポリオワクチンを含む4種混合ワクチンを4回予防接種します。1回分のワクチンで、不活化ポリオワクチンだけの代金が約5,000円ですから、一人につき約2万円、つまり日本全体では188億円余りのお金が必要です。ポリオが撲滅されると、毎年これだけのお金が浮きます。日本経済も助かるのです」。こう話すと、ロータリアンの顔が変わります。

RIがポリオプラスプログラムとしてポリオ撲滅活動を始めて、すでに30年を超えました。当初は2000年までに撲滅するという目標でしたが、世界の情勢に翻弄され、いまだに撲滅達成には至っていません。しかし、2010年を過ぎたころからゴールがかすかに見えてきたように思えてきました。

2014年にインドでポリオの撲滅宣言がなされ、2015年にはいったんアフリカでは発生がゼロになりました(実際には2016年に4症例がナイジェリアで発生、2017年は再びゼロ)。世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)の報告でも、地球上の野生ウイルス株でのポリオ発症は2013年から416、359、74、37件、そして2017年は22件と順調に減少してきています(2018年2月21日時点では3件)。1985年に35万人を超えていた患者数

を思い起こせば本当に「あと少し」のところまでできていることが認識できると思います。

2018年1月28日、インドで行われたNIDSに参加、ポリオワクチンを5歳未満の子どもたちに投与してきました。現地では「Keep India Polio Free」の合言葉で「ポリオのないインドを保とう」とキャンペーンを展開しました。インド、日本、オーストラリア、ベルギー、フランス、韓国などから

もロータリアンが参加して、インド政府と合同で「予防接種を受けよう」と呼び掛け、ワクチン投与をしていました。

日本では毎年3月1～7日を「子どもの予防接種週間」と定め、ポリオワクチンを含めた予防接種キャンペーンを日本医師会、小児科医会、厚生労働省が中心になって行っています。

ロータリアンやローターアクターの子ども、孫をポリオから守るためにも、あなたの活動が必要なのです。寄付するだけでなく、広報して周囲に協力を依頼することで、地球上からポリオを撲滅できるのです。

もうあなたにはゴールが見えていますよね。歴史をつくるカウントダウン。

(第2690地区 2014 - 15年度ガバナー・内科医)

GPEI: WHO、UNICEF (国連児童基金)、RI、CDC (米国疾病対策センター)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が中心となって世界からポリオを撲滅することを目的とした活動





# 特集 メークアップのすすめ

メークアップって何？ と聞かれた時に、出席補填<sup>ほてん</sup>のシステム、自クラブ以外の会員との交流の機会など、さまざまな答えが返ってくることでしょう。ロータリーでは会員であれば世界のどのクラブとも交流することができます。ここではメークアップに来た人を受け入れる立場のクラブと、海外のクラブでメークアップした人の声を紹介します。

## 国内最大の受け入れ態勢とその役割

東京RC 広報・雑誌委員長 遠山 明良

東京ロータリークラブ（RC）は、日本最古にして最大のクラブであるため、他クラブから大変多くのビジターがいらっしゃいます。移動例会としてクラブの皆さんで訪問されるケースも多く、1例会当たり訪れるメークアップのビジターやゲストの人数は平均して国内から12人、海外から1人となっています。

東京RCでは、メークアップで訪れるロータリアンの皆さまを、2カ所の受付でお迎えしています。国内ビジターは親睦活動委員会の国内受付で、海外ビジターは国際奉仕委員会の海外受付でお迎えし、会場監督（SAA）と協力して運営に当たっています。

親睦活動委員会は4つの班に分かれ、それぞれに複数の副委員長を指導係として配置し、1カ月ごとに順番で受付業務を担当します。当クラブの会員は入会后、最

低1年は、親睦活動委員会に所属する決まりになっています。また例会中の国内ビジターの紹介も、担当制を採用しています。



多数のビジターを迎え入れるため、受付は国内用・海外用の2カ所が設けられる

### 憧れの東京RCの例会で感じ取ったこと

宇都宮陽東RC 佐貫 直通

私たちのクラブ創立25周年記念活動の一つとして、日本初のロータリークラブである東京RCの例会に出席し、その歴史を実感してみたいとの声が会員から上がりました。そこで鈴木修司会長が音頭を取り、昨年11月29日、実現しました。

総勢19人の参加となり、東京RCにとっては迷惑になるかとは思いましたが、日本で一番歴史あるロ



ータリークラブはどのような例会運営をしているのだろうか、期待に胸を膨らませて出発しました。

例会場に到着すると、来訪者の指定席まで案内され、テーブルマスターが来訪者の名前、所属クラブ名、職業を各テーブルで紹介。卓話の要約が全員に配られ、来訪者に対する気遣いを感じました。海外からのビジターもあり、国際色を感じました。

東京RCの会員は、財界関係者、各業界の代表者、指導者が多いにもかかわらず、高慢さやおごりのない人ばかりという印象で、まさに「四つのテスト」を思い起こさせる例会でした。限られた時間の中で、卓話の時間を設ける工夫が至る所に見受けられ、その重要性を感じるとともに、ロータリーの歴史を感じ、自クラブの例会運営にも良い刺激となりました。

（第2550地区 栃木県）





国際奉仕委員会は、英語の堪能な会員と外国人会員で構成され、こちらも4つのグループに分かれて、3カ月ごとに受付業務を担当します。海外ビジターの紹介は、基本的に外国人会員が行うようにしています。

会員数が300人以上で会場が広いため、テーブル数は24と多く、ビジターの方々には1テーブル2人程度に分かれて座っていただくようにしています。2016年5月には、国内・海外合わせて80人のビジター、ゲストをお迎えし、急遽<sup>きゅうきょ</sup>テーブルを増やして対応しました。各テーブルには、テーブルマスターと副マスター2人を配置し、テーブルでのビジターやゲストの紹介などを担当します。

例会では、国際奉仕委員会から海外ビジターの紹介、

親睦活動委員会から国内ビジターの紹介を行います。ビジター数が多いこともあり、当クラブでは全員の紹介が終わってから皆さまに立っていただき、歓迎の拍手で迎えます。

なお、海外からのビジター、ゲストには、イヤホンによる同時通訳も行っています。例会場の帝国ホテルは、常に多数のビジターを受け入れられる食事の準備を行っており、アレルギーや宗教上の制約、ベジタリアンへの対応も行っています。

(第2580地区)

#### 東京ロータリークラブ

- ・曜日時間：水曜日 12:30～13:30
- ・例会場：帝国ホテル 東京 本館中2階 光の間
- ・ビジターフィー：4,000～5,000円
- ・事務局：TEL 03-3201-3888 E-mail: tokyo-rc@nifty.com

## クラブへの愛着と積極的なメークアップ

大阪RC SAA 薩摩 和男



やっぱりホームクラブの例会が一番？  
普段の例会の様子

大阪RCは、現在の会員数が270人程度で、かなり規模の大きいクラブといえます。ところが規模が大きいということがメークアップに来るゲストの数につながるわけではないようで、2016－17年度の1年間を調べたところ、国内ビジター93人、海外ビジター17人の合計110人を迎えています。例会開催回数の46回で割ると、1例会当たり2人になります。周年事業の案内などで来られるビジターも多いため、純粋にメークアップを目的として出席されるビジターは、毎回1人いるかどうかというのがいつもの印象です。

今年度のSAAを務めるに当たり、他のクラブへメークアップに行った際の自分の経験をどう生かすか、ということを考えてみました。見知らぬクラブでポツンと座っているというのも寂しいものですので、ビジターの方をきちんとフォローしようと思いながらスタートしました。

しかし実際は、メークアップで来られる方のほとんどはすでに当クラブに知り合いがいて、来場するとすぐ顔見知りの会員と親しげに話をしているので、SAAの出番はあまりありません。

逆に当クラブの会員がどの程度、メークアップをしているのか、昨年12月からの3カ月間を調べてみたところ、およそ200件登録されていることが分かりました。1年だと4倍の800件になり、会員数で割ると約3件。あくまで平均値ですが、当クラブの会

員は年間に3回ほどメークアップをしている計算になります。

しかし個別に見ていくと、その内容はさまざまで、仕事で東京と大阪を行き来している会員も多いことから、東京のクラブでメークアップをしている会員や、Eクラブの例会に出席する会員も見受けられました。また出席の大半が他クラブの例会という会員もあり、忙しく所属クラブの例会に出席できないながらも、出席率を保つ工夫をしており、当クラブに対してひとしおの愛着を持っているのだと感じた次第です。

(第2660地区)

#### 大阪ロータリークラブ

- ・曜日時間：毎週金曜日 12:15～13:30
- ・例会場：リーガロイヤルホテル(大阪) 西館2階 山楽の間
- ・ビジターフィー：4,800円
- ・事務局：TEL 06-6448-1121
- ・E-Mail: secretariat@osaka-rc.org



## 好奇心が原動力に

宮崎北RC 原田 實太郎



スロベニアのツェリエRCでバナー交換（2017年6月）

私は1972年に入会してから現在まで46年間、例会無欠席を続けています。近年はメイクアップの期間が前後2週間に延長されたり、クラブ内の委員会の出席も対象となるなどメイクアップ規定が変更され、またEクラブなどもできて、容易に出席補填ができる環境になっています。しかし、私のロータリー歴の前半は、メイクアップ期間は例会の前後1週間と定められており、ク

ラブの数も現在の半分以下。海外に行く場合には、旅行先でメイクアップする以外に、出席を確保する方法がありませんでした。

そのため、海外に行く前には必ず『Official Directory（公式名簿）』を参照し、行き先の例会場、開催日の情報を得て、現地で場所を探してはメイクアップしました。海外でメイクアップしたのはヨーロッパ、アメリカが主ですが、これまで約30のクラブを訪問しています。

最近はその理由でメイクアップが容易なので、海外でのメイクアップの必要性がそれほどなくなってきていますが、やはり好奇心旺盛な私は、機会があればできるだけいろいろなクラブを訪問するよう心掛けています。

どこのクラブに行っても喜んで歓迎してもらえます。そのたびに、ロータリーはすごいと実感できます。日本のロータリークラブの例会では初めに歌を歌うクラブがたくさんありますが、海外の例会で歌を歌うクラブはほとんどありません。毎回変化のある例会を楽しめます。たと言葉が分からなくても、海外のクラブの例会に出席してみてください。素晴らしい体験になると思います。

（第2730地区 宮崎県）

## 姉妹クラブは世界最古のシカゴワン

東京西RC 田沼 千秋

わが東京西RCと、ロータリー発祥の地であるシカゴRC（通称シカゴワン）とは、世界に3つしかない姉妹クラブの関係にあります（他にイギリス・バーミンガムRC、韓国・漢江RC）。現在姉妹クラブとなって32年目を迎えますが、この間たくさんの会員が訪問し合い、交流を深めています。私もシカゴを訪問した時には何回もメイクアップをしました。

とりわけ、2005年2月にシカゴワンの創立100周年記念大会が行われた時は、記念セレモニーに日本からも当時の池田彰孝会長をはじめ、たくさんの会員が参加し、その中には7月から当地区のガバナーになる服部陽子会員（東京広尾RC）もいました。

記念大会当時のシカゴワンの会長は、ロータリーの創始者、ポール・ハリスと同じ職業である弁護士のロバート・クヌーファー氏で、大会では大変な歓迎をしていただきました。

その10年後に当たる2015年は東京西RCの創立60周年でもある年で、当時の吉田晋会長をはじめ、多



シカゴワン110周年レセプション（2015年2月 右から3番目）

数の会員が日本からシカゴワンへの例会に参加しました。その際、シカゴワンの会長だったペドロ・セバロス氏は服部会員の同期として、2018年7月からガバナーになります。双方で旧交を温めたことが昨日のように懐かしく思い起こされます。

（第2750地区 東京都）





## 勇気を出して話すことの大切さ

小野加東 R C 西村 勝彦

1982年に小野加東 R C に入会後、何度も国際大会や海外旅行に出かけています。記憶に残った2つの海外メークアップを紹介しましょう。

1つ目は初めて海外のクラブでメークアップした時のこと。古くからの友人が、サンフランシスコ州立大学に留学していたため、2人で西海岸の都市を旅行しようという話になり、年末年始に2週間旅行しました。

その際、世界で2番目に誕生したサンフランシスコ R C の例会に出席し、バナー交換も果たしました。会場は大きなホテルの宴会場で、ここはパーティー会場かと思わせるにぎわい。ビジター紹介の後、「日本語の話せる方はいますか？」と英語で呼び掛けてみましたが、会場はシーン。残念に思っていると、例会後に住友銀行サンフランシスコ支店長の会員が席まで来られ、名刺交換をして安堵。しばし歓談をしました。初めての海外クラブは何もかも緊張の連続でした。1983年のことです。

2つ目は2003年、友人夫婦と共にロシアに旅行した際、サンクトペテルブルク・ネバ R C を訪れた時のこと。私は紹介されて英語でスピーチしました。ここはロシア、

何でもしゃべろうと勇気百倍。「私のポリオ体験とポリオ撲滅」をベースに、あらかじめ準備した原稿でスピーチしました。日本ではこんな話をしたこともありません。驚いたことに、元会長で当時サンクトペテルブルク大学准教授のイリナ・リブシーさんが一区切りごとにロシア語に通訳をしてくれていて、おかげで大きな拍手をもらい、本当にうれしかったです。

私の海外メークアップ体験は全て楽しい思い出です。

(第2680地区 兵庫県)



サンクトペテルブルク・ネバ R C の会員を前にスピーチする西村会員（2003年）

## 日本とは異なる雰囲気の例会を楽しむ！

新所沢 R C 中川 潤

昨年、ハワイ旅行を計画し、第2570地区の「日豪青年相互訪問プログラム」を通じて知り合ったオーストラリア・ジュンダラップ R C のリンゼイ・マクラウド夫妻、同地区の所沢中央 R C の大館廣・喜美子夫妻を誘いました。せっかくロータリアンがそろったので、ハワイのサウスヒロ R C にメークアップを打診。会長のブレンダ・ホーさんから快諾の返信をもらいました。このクラブは1956年創立の歴史あるクラブです。



ハワイのサウスヒロ R C にて

例会はわがクラブと大きく異なり、カジュアルな雰囲気スタート。「四つのテスト」唱和の後は5つ目の「Have Fun! (楽しもう!)」の掛け声で盛り上がったまま、会長が例会を進行していきました。自ら各テーブルに向き、マイクを差し出す姿が印象的。会員からは活発な意見が飛び交います。地域の奉仕活動がとても多く、会員の参加意識が高いことも興味深かったです。

年会費は200ドルで、リンゼイ氏によるとオーストラリアもほぼ同じとのこと。日本も会費のハードルを下げ、活動を通じて積極的に地域に貢献・アピールをしていくことが、会員増強につながると感じました。

ロータリーに所属していなければ、人生の中でさまざまな国の素晴らしい友人たちと出会うことはなかったかもしれません。ロータリーは私の考え方を前向きに変えてくれました。入会してよかったと思っています。今回そのありがたさと素晴らしさを実感した反面、メークアップで感じた大きなギャップや学んだことを、日本でも生かしたいと強く思いました。

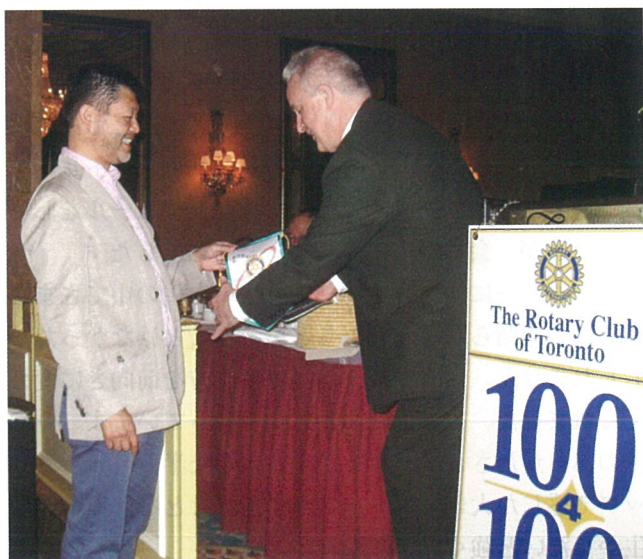
(第2570地区 埼玉県)



「ロータリアンであれば誰でもどのクラブの例会にも出席する権利がある」。これはロータリアンとしての楽しみの一つです。いつでもどこでも新しい友人に出会えるのですから。

私はロータリー財団の活動などを中心に、毎年数多くの海外の例会に出席しています。カナダでは 100 周年を迎えたトロント R C の例会、フィリピンでは第 3780 地区の会長エレクト研修セミナー（P E T S）や地区研修・協議会をはじめ、多くのクラブ例会で親睦を深めました。さらにシンガポール、ブルネイ、マレーシアの一部を含めた第 3310 地区の地区大会、インドネシア（第 3410 地区）やネパール、ブータン（第 3292 地区）では財団セミナーなどでスピーカーを務め、多くの友人を得ました。

メイクアップに当たっては、現地に知り合いがいるクラブがあれば簡単ですが、そうでない場合には Rotary Club Locator（次ページ参照）の活用をお勧めします。英語版アプリはスマホやタブレットにダウンロードしておけば、何曜日、何時から、どこで、どのクラブの例会があるかがすぐに分かります。世界中の例会を網羅していて本当に便利です。



カナダ・トロント R C 創立 100 周年記念例会にて（2012 年 6 月）



ネパール（第 3292 地区）の合同例会＆財団セミナーでバナー交換（2017 年 6 月 右から 3 人目）

以下、私の経験談となりますが、滞在するホテルのフロントで調べると、意外と簡単に見つかることもあります。海外の多くのホテルでは、例会場として使っているクラブ名をフロントなどに掲示しており、フロントで「このホテルでロータリーの例会はありますか？」と聞けば快く教えてくれます。出席に当たっては、できれば事前にクラブに連絡しておく方が良いですが、突然でも構いません。海外からのゲストは必ず歓迎されます。事前に知らせておき、バナー交換を行えばさらに盛り上がります。食費は 15 ドル前後で、払ったり払わなかったりです。日本のようなスマイルボックス（ニコニコ箱）はありませんが、クラブによっては Happy Coin と呼ばれる少額寄付を募るところもあります。また海外からのゲストにはあいさつをお願いしたり、記念写真を撮ったり、準備の良いところは国歌を流してくれたり、ご当地のいろいろなしきたりに触れるのも、楽しみの一つです。

「Doing Good in the World（世界でよいことをしよう）」という共通のテーマで結ばれた仲間たちとの出会い、ロータリアンの特権です。早朝、昼、夜を問わず例会が開催されています。ぜひ、海外でのメイクアップを楽しんでください。

（第 2760 地区 愛知県）





## 国際ロータリーのウェブサイト クラブ検索機能を使ってみよう！

フィンランドのヘルシンキ（Helsinki）でクラブを探してみます。



また①の「ロータリークラブ検索」からも例会情報を入手できます。都合がよい例会日、時間のクラブがあったら連絡をとってみましょう。

### WEB

#### 手順1

My Rotary (https://my.rotary.org/) にアクセス

#### 手順2

画面上部メニューの「会員コーナー」の中にある「公式名簿」をクリック

#### 手順3

「地区番号」または「クラブ」で「クラブ」を選び、下のプルダウンで「クラブ名」または「クラブ所在地」を選択します（ここではクラブ所在地を選択）。次に検索ボックスに地名 Helsinki とアルファベットで入力

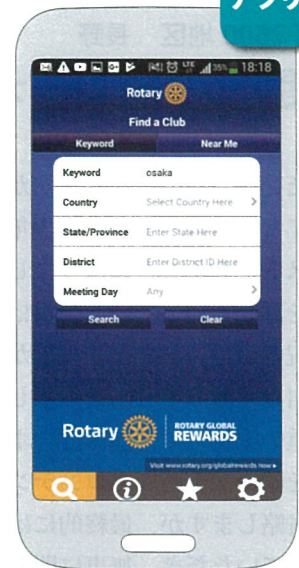
#### 手順4

「検索」ボタンをクリック

#### 結果

条件に合ったヘルシンキ市内のクラブのクラブ名、住所、例会曜日・時間、詳細な連絡先の情報が一覧表示されます

### アプリ



「Rotary Club Locator」というアプリもあります。スマホやタブレットで利用でき、iOS (iPhone、iPad) 用は App Store、Android OS 用は Google Play から検索・ダウンロードしてみましょう。GPS 機能と連動させ、近くで行われている例会をすぐに検索できます。

## メークアップFAQ

### Q1 メークアップ“make up”という言葉の意味は？

A1 “～の埋め合わせをする”という意味。欠席した例会を他クラブの例会や行事に出ることで、欠席分の補填を行います。

### Q2 メークアップするにはどうしたらいいの？

A2 メークアップしたいクラブ事務局宛もしくはクラブ幹事に連絡をしましょう。Eクラブではウェブサイトからビジターフィーの支払いができる場合がほとんどです。

### Q3 メークアップできる期間の定めはあるの？

A3 自分のクラブの細則を確認してみましょう。

### Q4 ロータリークラブの例会以外にメークアップできる会合や活動には何があるの？

A4 ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、地区大会、R I 国際大会などロータリーの会合への出席で欠席分の補填が可能です。詳しくは『手続要覧』を参照してください。

### Q5 知らないクラブに突然行っても大丈夫？

A5 大丈夫ですが、移動例会や休会の場合もあるので、事前に連絡した方が確実です。

### Q6 例会場に着了いたら何をしたらいい？

A6 受付でビジターフィーを支払い、名札をもらいます。クラブの担当の人が席まで案内してくれるでしょう。

### Q7 海外のクラブでもメークアップできるの？

A7 世界中のどのロータリークラブでもメークアップできます。

### Q8 オンラインでメークアップできるって本当？

A8 Eクラブなら24時間いつでもオンラインでメークアップが行えます。

### Q9 メークアップ時にもらうメークアップカードってどんなもの？

A9 例会に出席したと証明するものです。その場で受け取る場合と後日郵送される場合があります。

### Q10 自クラブの例会に100%出席しているけど、さらにメークアップしてもいい？

A10 メークアップの制度の意味は自クラブの例会の欠席分を補填するだけではありません。積極的に他クラブの例会へ訪問して、交流を広げるチャンスにしてみましょう。



## リアルな感動体験で得た自身の成長

第 2600 地区 長野

関 邦則ガバナー (長野RC)

だいぶ前の話になりますが、私の所属クラブが地区の RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) のホストをすることになりました。しかし、RYLA の内容を詳しく知っている会員はおりませんでした。そんな状況の中で、まさかの事態が発生し、私がその実行幹事を引き受けることになってしまいました。

重い気持ちで、前年度のホストクラブを訪ねて情報収集を始め、テーマやコンテンツを考えました。途中経過は省略しますが、最終的には多くの地域の若者たちに参加していただき、無事に開催することができました。

私にとってのロータリー・モメントは、この時に起きたのです。時計の製作に関する基調講演を聞いた翌日、実際に自分の手でリストウォッチのパーツを組み立てるワークショップを行いました。インストラクターの指導で各自がパーツを組み立てていったのですが、マイウオ



地区 I AC、青少年交換学生との合同研修で (2018 年 1 月)

ッチが動き始めた瞬間の若者たちの笑顔を見た時、言葉にならない喜びが私自身の中に湧き上がっていたのです。モノづくりに伴うストレートな喜びを体験したことは、彼らの将来のリーダーシップにつながるだろうと思いましたし、提出された感想文を読むと、頑張って RYLA をやって良かったという思いに満たされました。

ロータリー・モメントとは、自己満足のことではありません。相手のリアクションがあって初めて、自身の感動になるのだと思います。他人任せではなく、自ら主体的に動かないとその瞬間の可能性は生まれませんし、リアルな感動体験によってしか、自分自身の成長はあり得ないのだと思います。

(建築設計)

## 64 クラブのカラーを求めて

第 2610 地区 石川・富山

下口 幸雄ガバナー (加賀RC)

地区メッセージ「クラブのカラーを出そう」を念頭に回った地区内全 64 クラブのガバナー公式訪問から、多くのことを学びました。会員数 7 人から 121 人までのクラブの存在や、女性会員の比率が 36% を超えるクラブがある一方で、女性会員 0 人のクラブが存在します。



富山中 RC のガバナー公式訪問で (2017 年 10 月 左から 2 番目)

『ロータリーの友』1 月号の RI 会長メッセージにある会員構成の多様性について、全クラブで卓話をしてまいりましたが、土地柄や、特色ある産業が少ない地域での会員増強の困難さも理解できました。

しかし喜ばしいことに、クラブ規模の大小ではなく、ロータリーの奉仕の理想に向かった活動を怠っているクラブは皆無でした。各クラブがカラーを追求し、RI テーマ「ロータリー: 変化をもたらす」について真剣に取り組んでおられる姿に、ロータリーの進む先に輝く光を見いだすことができました。クラブの歴史は、先人がたゆまぬ努力と研鑽<sup>けんさん</sup>を怠らず、人類平和の目的<sup>たきもの</sup>に対してで得る最大の奉仕活動を重ねてきた、その賜物と感じます。

地域社会が求める奉仕活動を研鑽する姿、国際奉仕活動ではロータリー財団、また米山記念奨学事業への寄付を厭<sup>いと</sup>わぬ姿に感動を覚えました。昨年 10 月に行われた地区大会で 64 クラブのカラーを紹介しましたが、まさに 64 通りのカラーがありました。

各クラブが多様性を持ちながら、青少年や地域に密着した活動を通じてロータリーの存在を確認する姿に接し、ガバナーを務めさせていただいた喜びを改めて感じる公式訪問でした。この感動を胸に刻み、これからのロータリー活動を続けたいと思います。

(管工事)



## 尊敬する先輩方との 出会い

第 2620 地区 静岡・山梨

**松村 友吉**ガバナー (焼津RC)

もともといいかげんなロータリアンでしたが、例会には可能な限り出席していました。大先輩のお話を聞き、学ぶことは多くありましたが、2回だけ例会場で涙を流した経験があります。どちらもだいぶ前の話になりますが、1回目は、大先輩がロータリーの職業奉仕について



話された時。いたく感動して胸が熱くなりました。その先輩の熱い職業観に心を動かされたのかもしれませんが。内容よりも、感動した自分の心を鮮明に覚えています。

2回目は、やはり大先輩の会長あいさつを聞いた時です。その会長は大変な読書家で、時々ご自分の読まれた本の紹介をされていました。その時紹介された本は、慶應義塾大学元塾長・小泉信三氏の『海軍主計大尉小泉信吉』。私も以前読んで感動した本でしたが、改めて素晴らしい本の一節を読んで聞かされ、思わず涙してしまいました。それは確か、信三氏が戦地の息子、信吉に宛てた手紙の一節だったと思います。最近クラブ会長が本の一節を紹介するような場面は少なくなりましたが、年配の先輩方の中には、素晴らしい人格者がおられました。

こうして過去を振り返ると、私のロータリー・モメントは、先輩方との出会いだったように思います。これまでいろいろな会に所属し活動してきましたが、その組織に充実感を得てきた理由は、尊敬できる方々との出会いや学びだったように思います。

生来生意気な人間ですが、ロータリーという立派な人間の集まりの一員として、知らず知らずのうちに大変有り難い学びをさせていただいていると感じています。

(食品加工)

## 小さなクラブで実行した 大きな国際奉仕

第 2630 地区 岐阜・三重

**田山 雅敏**ガバナー (上野東RC)

それは私のロータリー人生の中でも忘れることのできない貴重な体験でした。約12年前、所属する上野東RCの推薦でK君が文化人類学を学ぶためオーストラリアの大学に留学。彼がパプアニューギニアでの実習に行った時、現地の中学校から学校の教材が足りないので協力してくれないか、との申し出を受けたそうです。クラブで話し合い、当時のWCS(世界社会奉仕)の補助金を得て、会員6人で現地に出発。3回ほど飛行機を乗り継ぎニューブリテン島に到着、東端の町ココボを目指しました。隣町は太平洋戦争時、基地があったあのラバウルです。

中学校を訪問すると、州知事やオーストラリアの同地区の役員もお見えになり、大歓迎を受けました。顔には友好の印としていろいろなものを塗りたくってもらいました。一緒にダンスをするなど、先生と生徒も私たちを大歓迎。ほとんどの人ははだして高床式の住居が多く、

まずここにロータリークラブがあることにも驚いたのですが、この歓迎ぶりには驚きの連続でした。

中学校が望んでいた顕微鏡10台と理科の教材を手渡すと、大変喜ばれました。入国時に没収されそうになり少し焦ったことも、今となっては良い思い出です。ロータリーの国際性を感じた貴重な体験でした。

小さなクラブでも、皆が心をつなぐにすればこんな素晴らしいことができると実感しました。そしてこの国際性こそがロータリーの良さと痛感しました。今はグローバル補助金という素晴らしい制度があります。ぜひ、皆さんのクラブでも有効に活用し、素晴らしい国際奉仕活動を行ってロータリーの良さを感じてください。(医薬品製造)



現地の子どもたちと (2006年2月)



## 地区はクラブのために

第 2750 地区 東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ

猿渡 昌盛ガバナー (東京武蔵府中RC)

当地区は東京南西部とアメリカのグアム、サイパン、パラオ共和国、ミクロネシア連邦と4カ国にまたがる地区です。日本からミクロネシアへは約3,720km、パラオまでは約3,180kmと、ガバナー公式訪問では34地区内で一番広いと思います。7月22日に開始し、8月15～23日は海外9クラブを順調に訪問。11月29日に国内90クラブ最後の公式訪問を無事終えました。ミクロネシア・チューク島の十数人のクラブから銀座・日本橋グループの二百数十人を擁するクラブまで、さまざまなクラブを訪問しましたが、地域の発展と平和を願うロータリアンの思いは、国や会員数ではなく、一人一人の思いがロータリーの奉仕活動を支えていると実感し、全ての出会いが私のロータリー・モメントとなりました。

「ハファダイ(こんにちは)」と笑顔で迎えてくれる島嶼地区のロータリアン。しかし、同じ地区にあっても経



2017年8月 右から4番目

済や医療、教育の格差は否めません。ミクロネシアの離島では生活水の確保もままならず、ポンペイ島では検査器材がなく、リウマチ性心臓疾患の早期発見と治療をすることができません。パラオでは栄養バランスを考えないジャンクフードの摂取による肥満が問題となっています。地区内クラブと協議し、太陽光浄水器や医療検査器の寄贈、運動公園の整備費用助成と、支援が具体的にってきました。しかし、持続可能な奉仕にするには、医療従事者や栄養士などの人材育成が急務です。明るい笑顔と美しい島を守るためにも、地区はクラブのために支援していきたいと思います。(神社神教)

## 親睦こそ奉仕の源

第 2760 地区 愛知

神野 重行ガバナー (名古屋名駅RC)

今や世にあまたとある奉仕団体の中で、私はロータリーという「多様性を重んじながら奉仕する人が集う団体」に入っていることを誇りに感じています。今年度、ガバナーとなって、地区内84クラブのガバナー公式訪問時、会長・幹事懇談会で私が訊いたのは「あなたのロータリー・モメントは何ですか？」でした。

その答えはいろいろでしたが、どれもロータリーの原点に通じるものでした。私のロータリー・モメントは2001年、会社の人事異動で金沢に出向勤務となり、着任した会社の前任社長の後、金沢東RCへ入会した時のことです。金沢東RCは今年創立60周年を迎える老舗クラブですが、当時はまだ女性会員がいませんでした。周りには女性会員がいるクラブもあったので、自クラブに女性がないのはどうしてだろうと、新会員の身でありながら女性会員入会運動(?)に大きな声で賛成して、

長老方からにらまれたのを覚えています。

しかし、そのかいあってか、私が入会して3年目に2人の女性会員が入ることになり、親睦委員長だった私は早速、親睦活動に参画してもらいました。企画・演出だけでなく、大道具・小道具を全て手作り。夏と冬の親睦例会はそれまで以上に大いに盛り上がり、その時の光景がいまだに語り継がれていることはうれしい限りです。

金沢で培ったクラブの親睦、会員の一体感こそが、会員増強やロータリー活動、奉仕活動の活性化につながる実感した私は、今、地元・愛知で会員の皆さんと「今日からのロータリーを楽しもう!」の地区方針で、周りにも変化をもたらすべく取り組んでいます。(山林業)



企画・演出に徹した「ウォーターボーイズ」(2004年8月 納涼例会で)



## 強い仲間の絆に感極まる

第 2780 地区 神奈川

**大谷新一郎**ガバナー (相模原南 R C)

最も心に残るロータリーの体験、それは「仲間の絆」です。所属する相模原南 R C が、今回初めて地区大会のホストクラブを務めるという大きなハードルを見事に乗り越えてくれた時に味わいました。試行錯誤の中、各実行委員は夜を徹して会議と準備。当日、天候悪化を物ともせず、でき得る限りの対応をしつつ、本会議には台風一過の晴天。素晴らしい大会となりました。

開催が9月中旬で、私自身はガバナー公式訪問の真っ最中。実行委員会任せで、準備会議には3日前にようやく参加し、話し合えたというありさまで、皆さんには申し訳ない気持ちでした。台風到来の恐れもあり、不安を残したまま臨みましたが、それは全くの杞憂<sup>きゆう</sup>でした。

細部にまで各担当の会員が責任を持って行動してくれた、2日間にわたる地区大会は、多くのご参加の皆さまに気持ちよく楽しんでいただけたと思っております。舞



地区大会が終わり、仲間と笑顔で一息 (左から3番目)

台裏で一日中、登壇者の順番をチェックしたり、大雨の中来場者を誘導したり、目に見えないところで多数の縁の下の力に支えられ、無事に終了することができました。そのことに対する仲間への感謝の気持ちがあふれ、最後のガバナー謝辞の時には感極まり、心ならずも絶句してしまいました。打ち上げで笑いながら苦労話をしている皆の姿を見て、改めて仲間の絆を強く感じた次第です。

常日頃、私はロータリアンとして「他人への思いやりは奉仕の基本である。他人への援助はその表現である。相共にかかる行為は奉仕の理想を構成する」という奉仕の理想を胸に留め、ロータリーライフをエンジョイしていきたいと思っております。

(石油製品販売)

## 地区大会表彰で 連続出席 56 年に感動

第 2640 地区 大阪南部・和歌山

**岡本 浩**ガバナー (和歌山城南 R C)

今年度の地区大会では、①連続出席 40 年以上の会員、②在籍 45 年以上 (80 歳以上) の会員、③勤続 20 年以上のクラブ事務局員を表彰することに決めました。

該当者は①につき 16 人、②につき 19 人、③につき 10 人。その人数の多さから、当地区のロータリークラブとロータリー活動が、多数の素晴らしい方々によって支えられてきたことを、改めて認識させられました。

とりわけ、連続出席 56 年の山中静会員 (和歌山南 R C) の存在には、強い意思の発現の結晶を見る思いで、ロータリアンの範を示されたものとして深く感動しました。私のこの感動は、地区大会に出席し、山中様の受賞状況を目の当たりにした当地区ロータリアンの等しく共有するものとなったことを、大会会場内のどよめきと大きな拍手により確信しました。

強い意思をもって実行を続けていくことは、物事を成

す上で不可欠の要素であり、それをロータリーの例会出席という形で実践されているのは、ロータリーの目指すべき「人のありよう」を示していただいているものと思います。地区内の全ロータリアンに、ロータリーの精神の具現化した姿を示していただいた思いです。

私自身の連続出席は 20 年を超えたところであることに比すと、56 年という数字にただただ驚き、感動するばかりです。私の年齢からして、とうていこの 56 年に達することは不可能ですが、少しでもこの数字に近づけるよう、これからのロータリー生活を続けていこうと決意をした次第です。

(弁護士)



地区大会で、連続出席 56 年の山中会員を表彰 (2017 年 11 月)



# World Roundup

## 世界のロータリーニュース



### ポルトガル

第 1960 地区と第 1970 地区からローターアクト数十人が集い、ポルトガルの環境保護団体 Quercus がモンテ・バラタに所有する約 400 万㎡の土地に 1,500 本の木を植えました。2017 年 3 月 11 日に、約 2 万 4,000㎡の土地にコルクガシなど地元の木を植樹。「これは、ポルトガルにとって、またロータリー運動にとって、大きな実績を残します」とサンジョアンダマデイラ・ローターアクトクラブ会長のイネス・ヘイス氏は言います。この資金を調達するために、リスボンで開催されるロック・イン・リオのチケットと T シャツ各 1 枚入りの「ローターアクト・イン・ロック・イン・リオ」グッズを 300 セット販売。4,000 ドル（約 43 万円）以上の資金が集まりました。

コルクガシの樹皮からコルクが採れるようになるには、最低でも 25 年かかります。



### ガーナ

ガーナのアッパーウエスト州ジラバ郡では、電力不足のため多くの家庭が夜も暗い中で生活を送っています。アクラリッジ・ロータリークラブ（RC）とワRCは第 9102 地区の補助金を活用して、主に学童を対象に、100 個のソーラーランプを 2 カ所の地域住民に配りました。「放課後勉強する環境が改善されたことで、子どもたちの成績は上がることでしょう」とアクラリッジRCのサン普森・ジャン・アモコ氏は言います。「One Lamp per Family（一家に一つのランプ）」と命名された 6,700 ドル（約 72 万円）規模のこの活動で、2017 年 6 月には村の広場にソーラー街灯を 2 本設置していました。



### 南アフリカ

ダンディーRCは、T シャツを使って野生動物の保護を訴えています。角を狙った密猟に脅かされているサイの窮状を世間に広く知らせるために、クラブ会員のピーター・カイラー氏が「Stop the Slaughter（殺りくを止めよう——密猟との戦い）」と描かれた T シャツとサイクリングジャージーをデザインし、クラブ会員が販売。約 1,000 ドル（約 10 万円）の売り上げはクワズール・ナタール州の森林警備隊を支えている Ezemvelo KZN Wildlife（南アフリカの政府機関）のサイ保護プログラムに寄付しました。「プログラムは何より、アフリカ南部で最古の遺伝子プール（遺伝子給源）に含まれるサイの繁殖のため、保護することを目的としています」とカイラー氏は言います。





## カナダ

クリスマスの時期に、ニューブランズウィック州のチャタムRCが貧困家庭に新しいパジャマを配り、暖かさを分かち合いました。自動車ディーラー 10 店舗を収集場所として集めたところ、1,200 着近くのパジャマが集まりました。会員が車にパジャマを飾りつけ、にぎやかにプロジェクトをスタートしました。パジャマを自動車に詰め込む作業には自動車販売店やディーラーの店員も客も参加。これらの自動車は救世軍、先住民のコミュニティー、シリア難民などのグループに引き渡されました。「これほど多くの人々のために何かできたと思うと心が温まります」と会員でプロジェクトの発起人であるポーラ・トゥルーマン氏はいいます。

インドでは一日に 3,000 人の  
子どもが飢餓や栄養不良が原因  
の疾患で死亡しています。



## インド

飢餓がいまだに存在するインドでは、2 億人近い人々が栄養不良で苦しんでいます。飢えに苦しむ子どもたちが、売れ残りの食べ物が毎日廃棄されるレストランの外で待ち受けているというインドの深い闇を見て、バンガロール・ブリゲードRCが立ち上がりました。バンガロールの一画、インディラナガーの歩道に小型の冷蔵庫を設置。協力店舗がその冷蔵庫に余った料理やペットボトル入りの水を入れます。バンガロールの住民で空腹を抱えた人は、誰に断らなくても無料で料理を取り出せ、物乞いしなくても食事ができるのです。「ロータリーの冷蔵庫は 5 台あります。レストランが賛同してくれたのを非常にうれしく

思います」と元クラブ会長のヴィムラ・ピント氏は言います。ロータリーのロゴが記された冷蔵庫の容量は 110 ～ 200 l。プロジェクトに参加している飲食店がきれいに掃除して食品を入れておきます。会員は冷蔵庫の設置と監視をしています。このプロジェクトは、貧しい人々へ、米やレンズ豆、砂糖、果物などの食料品を寄付する同クラブのロータリーシェルフ・イニシアチブと共に人々の食を守ります。「食べ物の行きつく先はごみ箱や焼却炉ではなく、消費されて人の血肉となるべきだというのがこのプロジェクトの考えです」とピント氏は話します。

—ブラッド・ウェバー



熊本地震から2年。被災地では、いまだに多くの人々が仮設住宅で暮らし、避難生活を送っています。メディアで取り上げられることも少なくなっている中、被災地復興のため、支援を続けるロータリークラブがあります。前月号の東日本大震災の復興支援活動に続き、今回は熊本地震復興支援活動を紹介します。

## G O熊本！ そして友好の輪へ！

肥後大津RC 桑住賢二郎  
小田原北RC 大川 耕作



2016年4月に発生した熊本地震の後、全国のロータリアンの皆さまから第2720地区（熊本県・大分県）に多額の義援金を寄せていただきました。この義援金を元に、各クラブではさまざまな復興支援プロジェクトを計画・展開していますが、肥後大津ロータリークラブ（RC）が進めているのは、「熊本復興支援ツアー」です。

新聞やテレビなどのメディアで熊本地震の話題が取り上げられることが少なくなった今、全国のロータリアンの皆さんを熊本に招き、被災地に訪れてもらい、いまだ仮設住宅で不自由な生活を強いられている被災者のために協同で奉仕活動を行いながら、より深く熊本の復興の現状を知ってもらうことを目的としています。

2017年6月に実施した、大津東RC（滋賀県）を招いてのモニターツアーの経験を基に、今回、小田原北RC（神奈川県）と協同で、2回目の熊本復興支援ツアー

を同年11月24日から2泊3日で実施しました。小田原北RCの会員11人が参加し、直接的または風評被害などで今も苦しむ、熊本有数の観光地・阿蘇や、地震の傷痕が生々しい熊本城などを巡りました。旅程の中では、阿蘇の空に熱気球を上げて、仮設住宅の方や地元の方が無料で参加できるバルーン体験なども実施し、熊本に元気を届ける活動も行いました。協力していただいた阿蘇RC、熊本りんどうRCの皆さまにも感謝いたします。

今回のツアーで絆を深めた肥後大津RCと小田原北RCは、友好クラブを締結することになり、3月7日、締結式を行いました。復興支援をきっかけにできた友好の輪を育み、熊本の復興と小田原の発展に少しでも役に立てればと願っています。

（第2720地区 熊本県／第2780地区 神奈川県）



## 忘れてはいけない奉仕 熊本震災復興支援

京都嵯峨野RC 村田 信也

2016年4月に起きた熊本地震。1年以上が経過すると、われわれが暮らす京都では話題に上がることがほとんどなくなっていました。

昨年4月、次年度理事予定者の会議で、熊本県益城町でいまだに避難生活を送る人たちが多数いると知り、正直、意外な思いがしました。しかも、なんとその数は4万人を超えるとのこと。

われわれに何ができるかと現地の人たちの情報を得ながら、奉仕活動の準備を開始。益城町では予算の制約と、優先すべき復興整備事業があり、子どもたちへの支援が後に回されがちと聞き、クラブでは益城町第三保育所に、保育所が希望した楽器を贈ることにしました。

それから半年後の10月25～26日に現地を訪問。



季節外れの台風が日本を縦断していましたが、訪れた日は快晴に恵まれ、多数の園児たちが出迎えてくれました。寄贈した楽器での演奏会まで開いてくれたことに、とても感動しました。

子どもたちから「京都嵯峨野ロータリー」と発せられる言葉を耳にしてとても驚き、あふれる笑顔に私たちの方が癒やされる思いがしました。

クラブ創立25周年の記念奉仕の一環としての楽器寄贈で

す。益城町から感謝状もいただき、喜んでもらえたと思いますが、時の経過と共に忘れがちな被災地の支援を怠ってはならないと改めて思った次第です。またロータリーとしては、次代を担う子どもたちへの支援が特に必要とも感じました。

(第2650地区 京都府)

## 被災地に花を咲かせよう！ プロジェクト序章

西天草RC 山口 徹

「へい、らっしゃい。おいしい焼きそばできたよ～。買って～」

秋天に威勢の良い声が響き渡る。9月23日の秋分の日、九州電力若北火力発電所のイベントに当クラブで出店し、焼きそばと、がね揚げ（れいばく）を売っているのだ。

「がね揚げ」はサツマイモの細切りに、てんぷらの衣を付けてかき揚げにしたもの。「がね」とはカニのことで、端っこの飛び出ている部分がカニの足に見えるところから、がね揚げと呼ばれるが、カニは一切入っていない。

午前10時から始めて午後2時すぎに全部（焼きそ

ば300食、がね揚げ200個）を売り切り、経費を差し引き、5万円強の利益を得ることができた。このお金は2016年に震度7の地震に2度も襲われた熊本県益城町を、花でいっぱいにするための軍資金だ。当クラブと同じ熊本第7グループの本渡RC（ほんど）が発起人となり「被災地に花を咲かせよう！ プロジェクト」を計画し、益城町に10万本のチューリップを植栽しようとしている。

わが西天草RCは同じグループの一員として、微力ながらその支援金を得るため、今回のイベント参加となった。同時に、来場者に向けて同プロジェクトの広報をぬ

かりなく行った。

残念なのは、テレビや新聞、ラジオなどのメディアからの取材が全くなかったことだ。この点を反省し、次回からは積極的に取材依頼をしようと思う。何はともあれ、会員の皆さん、お疲れさまでした。

(第2720地区 熊本県)





# NEW GENERATION

ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

## 世界で、世界を学ぶこと

元青少年交換学生 吉田 翼

フランスのアルザス地方に1年間留学しました。絵本のようなヨーロッパの伝統的な家やブドウ農園、自然、生活様式。個人の時間を大切に使うこと……「こんな世界があったのか」と感動しました。私がいたのはドイツとフランスの国境の町だったのですが、フランスよりも税金が安いという理由で、多くの人が国境を越えてドイツで買い物をすることにも驚きました。驚きがあるたびにその他のことも知りたくなり、ワクワクしました。「自分の世界」が広がるように感じ、知ることの大切さを学びました。

世界には私たちの知らないことがたくさんあり、知ることによって人生の道を広げられるのだと思いました。日本の中だけで生活をしていると自分の中の常識が当たり前となり、他の考えや可能性に気付かないことがあります。

留学することの意義を、身をもって知りました。

今、大学在学中に海外の大学に留学し、両大学で一定の単位数を取得すれば、両大学の卒業資格が得られる留学プログラムへの参加に向けて取り組んでいます。

このプログラムを通して、語学力の向上はもちろんのこと、海外の学生がどのような勉強に取り組んでいるか、幅広い分野を学びたいと思っています。そして、将来は国際貢献活動に参加して「自分の世界」を広げていきたいです。



立命館大学1年。山口県出身。2016 - 17年度第2710地区長期青少年交換学生(ホストクラブ:ヴィサンブルRC、スポンサークラブ:柳井西RC)。滋賀県在住。趣味は語学、旅行、園芸ほか。

## 日本は楽しい

青少年交換学生 ローレン・オーエンス

私はアメリカのセントルイスから来ました。日本の文化と言語に興味があり、日本に行きたいと思っていました。

実家は8人家族。6人きょうだいなので時々うるさいです。でも楽しいです。

私は今、鹿島高校2年生のクラスにいますが、高校で習うことはアメリカで大体終わってきました。鹿島高校では、バレーボール部に入りました。下手だけど、バレーボールが好

きです。10年間、ピアノを弾いています。ショパンとサティを弾くのが好きです。

本を読むのが好きで、特に『ハリー・ポッター』が大好き。日本のユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)に行きたいと思っていました。アメリカのユニバーサル・スタジオ・ハリウッドは高いから行っていません。去年の11月にホストシスターとUSJに行くことができました。めっちゃ楽しかったです。ジェットコースターに乗って、バタービール(『ハリー・ポッター』シリーズに登場する架空の飲み物を再現)を飲んで、買い物もしました。子どもの頃からの夢がかなってうれしいです。

アメリカに帰った後、大学に入ります。たぶん植物学を専攻しますが、将来は外科医になりたいです。

今、日本語だけ習っています。でもその他の外国語も知りたいです。

アメリカ・セントルイス出身。佐賀県立鹿島高校2年生。ホストクラブ:鹿島RC、スポンサークラブ:ウェブスターグローブスRC。佐賀県在住。趣味はピアノ、読書、美術(特に印象主義)鑑賞。



ローレン・オーエンスさん(左)

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者(現役、学友どちらも可)を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) からダウンロードできます。



# 次の50年に向けた記念すべき一步に

—— 財団設立50周年記念式典に約700人が参加 ——



2018年2月4日、くしくも当事業にその名を冠する米山梅吉翁の生誕150年の記念日に当たるその良き日に、グランドニッコー東京台場にてロータリー米山記念奨学会の財団設立50周年記念式典が開催されました。会場は、各国大使館・地域代表機関の関係者、日本全国のロータリアン、米山奨学生、国内外からの多くの米山学友で埋め尽くされ、約700人が先人たちの思いに心をはせつつ50周年の節目を祝い、未来へ向けてさらなる飛躍を誓いました。今回は、「米山記念奨学事業50年のあゆみ」シリーズの特別版として、笑顔と感動にあふれたこの式典の様子をご報告します。

2017-18年度は  
財団設立50周年





## 夢の実現を呼び掛けたフォーラム

午前10時半、50周年記念委員会・埼玉男委員長の開会宣言で第1部フォーラムがスタート。司会は、オーストラリア出身の米山学友、カレン・ジュリア・ウォータースさんが務めました。冒頭あいさつに立った小沢一彦理事長は、50年前を振り返り、「財団設立に当たり、当時の文部省は年間2,200万円もの寄付が集まるのかと心配したようですが、今では毎年14億円の寄付があり、当時の人たちが聞いたら驚くのではないのでしょうか。今や日本のロータリアンにとって、米山記念奨学事業は、実践するプログラムの柱となったのです」と述べ、参加者への感謝とともに一層の理解と支援を求めました。

斎藤直美国際ロータリー理事、当事業の前身を築いた東京ロータリークラブ（RC）の森田富治郎会長のあいさつに続き、「世界に平和の種をまく ～米山記念奨学事業、未来への提言～」と題し、高野孫左エ門氏（甲府RC）をファシリテーター、パネリストには学友代表として、陳思乾さん（台湾）<sup>チンシチヤン</sup>、全炳台さん（韓国）<sup>ジョンビョンテ</sup>、林小微さん（台湾）<sup>リンシャオウェイ</sup>、ジャンチブ・ガルバドラッハさん（モンゴル）、于咏さん（中国）<sup>ウエイ</sup>の5人が登壇し、「奉仕・成長」「恩返し・懸け橋」「行動・ネットワーク」などを主題に、各自が個人として、あるいは学友会としての実践例を挙げながら、日本のロータリアンへの感謝、そして米山記念奨学事業への熱い思いを述べました。

高野氏はさらに、6人の歴代理事長が描いた夢を示しつつ、「ゲーテの言葉に“小さい夢は見るな。それには人の心を動かす力がないからだ”とありますが、この事業はまさに小さな夢ではありませんでした。人材育成・世界平和・国際親善の推進といった理念の下に基盤が強化され、多くの人の心を動かすことができました」と述べ、設立時に掲げた夢を今後も描き続け、事業を推進していこうと呼び掛けました。



参加者からは「学友の皆さんからの感謝の気持ちを実感しました」「パネリスト一人一人の発言が心に残り、今後も寄付を続けていくべきと再確認できました」「世界が平和になるよう力を尽くしてくれ」と心強く思いました」との声が寄せられました。

“よねやま”への熱い  
思いと感謝が語られた  
フォーラム

2017-18年度は  
財団設立50周年



## 祝賀会の幕開けはロータリアンへの感謝から

第2部の祝賀会は、二胡奏者として活躍する学友の姜曉艶さん（中国）<sup>ジャンショウウェン</sup>の演奏で幕を開けました。入場したロータリアンを出迎えたのは、米山奨学生と学友たち。姜さんの奏でる二胡の調べに合わせて、手拍子をしながらか「ありがとうございます！」と声を掛け、ロータリアンへの感謝の気持ちを伝えました。

この祝賀会では、相澤光春氏（ふじさわ湘南RC）とカザフスタン出身の米山学友、ジョルダヤコヴァ・サウレさんが司会を担当。二人の息の合った進行で、駐日ミャンマー特命全権大使のトゥレイン・タン・ジン氏をはじめ、学友会や学友ネットワークのある5つの国と地域（ミャンマーのほか、台湾、モンゴル、マレーシア、ベトナム）の大使館・地域代表機関からの来賓が、満場の拍手で迎えられました。その中には、台北駐日経済文化代表処で科学技術部部長を務める洪儒生さん<sup>コウジュセイ</sup>と、駐日モンゴル国大使館の経済担当二等書記官であるアルザフガイ・デルゲルマーさんの、二人の米山学友の誇らしい姿もありました。



二胡を演奏する姜曉艶氏





阿部志郎氏

## 米山翁の生きざまに思いをはせて

祝賀会のハイライトは、神奈川県立保健福祉大学の名誉学長・阿部志郎氏による特別講話でした。阿部氏は御年 92 歳。幼少時、隣に住む米山梅吉・春子夫妻とはたびたびあいさつを交わす機会があったそうです。米山梅吉翁を「全てをささげた人、恩義の人、愛の人……」と評し、「子どもの頃から米山のような人物になりたいと思っていました。ここにいる皆さんは、米山スピリットの継承者。アダム・スミスが経済活動に必要と唱えた“傾ける耳、涙する目、差し伸べる手”、米山はそういう人でした。米山の生き方を私たちは学ぶべきでしょう。それぞれの人生において、米山の後をついていこうではありませんか」と結び、万雷の拍手が送られました。

続いて、特別表彰として、米山記念奨学事業に多大な貢献をされた坂本ドネイシ

ョン・ファウンデーション(株)の坂本精志氏(名古屋名東 R C)・春代夫人に、小沢理事長から感謝の盾と花束が贈呈されました。坂本氏は「故郷・島根の苦学生 150 人に奨学金を出していた父の姿に、私も何かしたいと思っていました。妻と話し合い、家族に財産を残すのではなく、育てていただいた社会に全てお返しすることにしました。その一部を、私が一番関心を寄せる米山に寄付したいと申し出て、奨学会では定款を変更して受け入れていただきました。念願かなってうれしい限りです」とあいさつ。まさに、阿部氏の講話で語られた米山梅吉翁の生き方を実践する坂本氏の言葉は、聞く人に深い感銘を与えるものでした。



坂本夫妻と小沢一彦理事長(左)

## 総勢 700 人による庄巻の大団円

乾杯後の歓談を経て、「私たちの宝物」として、出身国・地域ごとに奨学生・学友が紹介され、学友代表として、台湾から駆けつけた財団設立当時の奨学生、廖一久氏リョウイクから感謝のスピーチがありました。そして、再び登壇した姜さんの華麗な演奏が終わると、あっという間に閉宴の時間に。名残惜しさの中、最後は姜さんの伴奏で「手に手つないで」を全員で歌い、“ロータリー家族”の温かさを感じながら大団円でお開きとなりました。

常日頃から当事業を支援し、奨学生・学友に惜しめない愛情を注いでいるロータリアンの皆さま、そして、奨学期間が終わっても感謝の気持ちを忘れず、日本各地、世界各国から集まってくれた学友たちと、当日、ボランティアとして活躍してくれた奨学生たち。参加した全員が、この事業の精神的な祖である米山梅吉翁の生き方を学び、今日まで、この事業に託されてきた夢と希望をあらためて確認した、記念すべき一日となりました。

この日の感動を胸に刻みながら、ロータリー米山記念奨学会はこれからも歩み続けます。次の 50 年に向けて一歩一歩、着実に——。どうぞ今後とも、一層のご支援をお願いします。



廖一久氏



最後は出身地も世代も超え「手に手つないで」

※米山記念奨学事業、および「よねやまだより」に関するお問い合わせ・ご意見は、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで  
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281 Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp



# パズル de ロータリー

今月はスケルトンです。ロータリーのことはよく分からない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

## ルール

リストの「世界の偉人」を、すべて盤面の中に入れましょう。言葉の入る方向は、上から下、左から右のどちらかで、1マスに1文字が入ります。タテヨコの言葉が交差するマスでは、同じ文字を使うのがヒントになります。小さい「ィ」「ェ」などは大きな「イ」「エ」などとして入れてください。

## 【リスト】

### 3文字

ゴッホ  
ロダン

### 5文字

ダーウィン  
トリチェリ  
ニュートン  
ホーキング  
リンカーン

### 7文字

ナイチンゲール

### 8文字

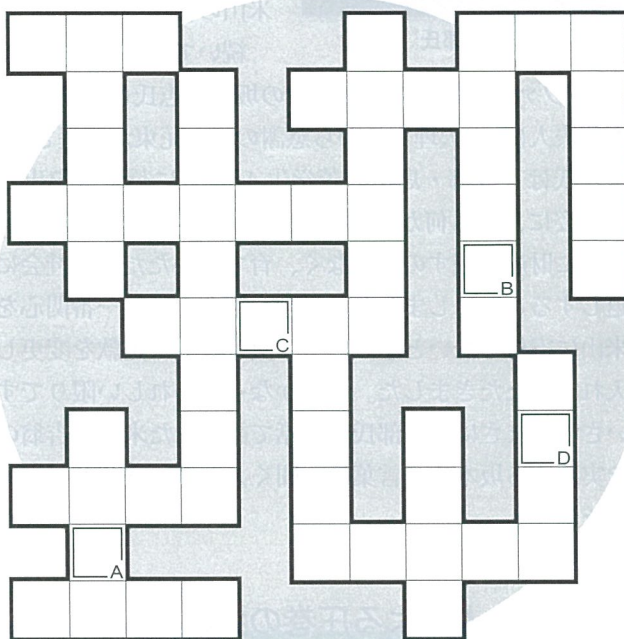
アインシュタイン

### 4文字

エジソン  
ガンジー  
ソープン  
ニーチェ  
ノーベル  
パスカル

### 6文字

クーベルタン  
ゴルパチョフ



二重枠に入った文字をA～Dの順に並べてできる言葉は？

答

A B C D



毎月10人にロータリーの友名前入り針なしステープラーをプレゼント!!



※色はお選びいただけません。

◆応募方法◆ 郵便はがきに、①「4月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 (一社) ロータリーの友事務所P係までお送りください。②～③の情報、および④に関する回答は、誌面企画の参考と、「声」欄(縦組みP31)に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

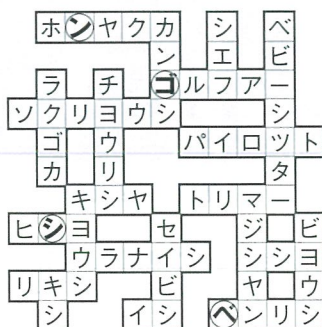
◆締め切り◆ 2018年5月10日(木) 必着

## 「パズル de ロータリー」(1月号)の答え

### 1月号の答え「ベンゴシ」

ロータリーの創始者ポール・ハリスの職業が、1月号の答え、弁護士です。

ハリスは大都市シカゴで開業しますが、そこでの生活は孤独だったと後に述べています。1900年の秋、弁護士仲間のボブ・フラン



クから、シカゴ中心街から少し離れた彼の自宅に招待されました。その際、フランクが地域の商店の人と親しく接しているのを見て、よそ者同士が商売でも友情でも1つになれる可能性を見いだしました。この出来事がロータリークラブ発足のヒントになったと言われています。

応募総数 146人 正解者 143人

当選者(敬称略・順不同)／久家正義(平田RC)、小泉繁勝(川崎中RC)、宮田敬之佑(海南東RC)、松木良介(熊本RC)、當間寿海(鎌倉RC)、三浦宏一(横浜戸塚RC)、高田宗彦(本宮RC)、見富清一(大宮中央RC)、西村元秀(堺泉ヶ丘RC)、赤井幸夫(沼田中央RC)

来月のパズルは、数独。お楽しみに！



# CLUB INNOVATION

アメリカ  
セントラルオーシャン  
トムズリバーRC

2015年の会員：18人  
2017年の会員：29人



## プロジェクトに対する関心：

アメリカ・ニュージャージー州のセントラルオーシャントムズリバー・ロータリークラブ（RC）の会員は、年齢30～89歳と幅広く、ほぼ男女同数という多様性に富んだクラブです。会員が奉仕活動に直接参加することを重要と考え、クラブは多くのしっかりしたプロジェクトに取り組んできました。2017-18年度は、9つ（現在も増加中）のプロジェクトを同時進行させるため、小さなグループに分かれて取り組んでいます。

マイク・ブッカ氏が2015年7月にセントラルオーシャントムズリバーRCの会員増強委員長に就任した時、クラブに問題があることに気付きました。会員数は18人までに落ち込み、減少していたのです。ブッカ氏は、クラブの現状に真剣に向き合うよう、クラブのリーダーたちを説得しました。

クラブの理事会では、3回の会員増強会議を行い、例会場について、ロータリーに入会する理由、そして会員であり続ける理由について話し合いました。その結果、会費を下げることで新しい会員を引きつけ、クラブの会員構成を劇的に変えるという提案が出されました。

「会員が時間や金銭面で無理なく貢献できる場をクラブの中に持ってほしいと考えました」と、ブッカ氏は言います。「それは、実にうまくいきました」。

セントラルオーシャントムズリバーRCには、正会員と法人会員がいます。法人会員は、地元の団体や企業が会員資格のある従業員を決められた枠内で指名するものです。会費はどちらも半期で399ドル。クラブはこの他に3つの会員の種類を設けています。



上：住宅支援を行う国際NGOハビタットで活動する会員  
下：チャリティウォークに参加する精力的な会員

THE ROTARIAN 4月号から

## 新しい会員分類で、 新会員を引きつける

### イノベーション：

会員数が20人以下になった時、クラブのリーダーたちは、会員を維持し、引きつけるため、これまでとは抜本的に異なる会員構成を取り入れる賭けに出ました。この賭けはうまくいき、2年で61%の増強に成功しました。

1つは新会員。新会員は、最初の半期は99ドル、次の半期は199ドルの会費を払います。そして入会した次の年から正規の会費を払います。

「私が入会した時、最もためらったのは金銭面でした」と、ブッカ氏は言います。「会費が99ドルだったら、私はすぐに入会したでしょう。誘われてから3年後ではなくてね」

2つ目は、正規の会費を払っている会員の家族への割引です。家族会員は半期ごとに199ドル支払えば在籍できます。家族の一人が正規の会費を支払っている限り、その割引は適用されます。

これはブッカ氏の経験に基づいて考案されました。「私の妻と他の2人の会員夫人はクラブに入会を希望していたのですが、経済的な余裕がありませんでした。しかし、会費を半額にしたところ、3人の新会員を得ることができました」

3つ目の会員種類はフレンドシップ会員と呼ばれます。これはクラブを支援し、プロジェクト参加に興味がありつつも、例会に出席することができない会員のために設けられました。フレンドシップ会員の会費は、半期で249ドルです。

「会員は、例会に出席できないことに後ろめたさを感じるものです。これは、その後ろめたさを取り除きます」と、ブッカ氏は言います。

新しい取り組みは成功でした。会員は、最も少なかった2015年の18人から、2017年には29人に増えました。新会員の多くは30代です。そして、多くが女性だと、ブッカ氏は言います。

「2013年時点で40歳未満は私1人でしたが、今は7人います。私たちのクラブは、女性会員数が地区で第1位になりました」

最も重要なことは、新会員がクラブに活気を与えたことです。「私たちのクラブは消滅しかけていましたし、危うい状況でした。しかし、方向転換したことで活気づきました」と、ブッカ氏は言います。

—SUSIE MA

あなたのクラブはどのような革新的な  
取り組みを図っていますか？

[hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp) までお知らせください。





## インスピレーションを与えるリーダーに

国際協議会が1月にサンディエゴで開催され、2018 - 19 年度国際ロータリー (R I) 会長テーマ「インスピレーションになろう」がガバナーエレクトたちに発表されました。バリー・ラシン R I 会長エレクトは、「若い世代にインスピレーションを与え、地元でロータリーの活動を広く知らしめることで、より強固な組織づくりを目指そう」とガバナーエレクトに呼び掛けました。

ラシン氏が会長テーマを発表した後、ガバナーエレクトに感想を聞きました。

シャルル・トンデュールさん (第 1520 地区 フランス)「ロータリーは新しいアイデアを受け入れていけないといけないと考えています。このテーマは会員にインスピレーションを与えるアイデアを考えるよう促してくれます。インスピレーションになるというのは、新しいエネルギーを生み出すことです」

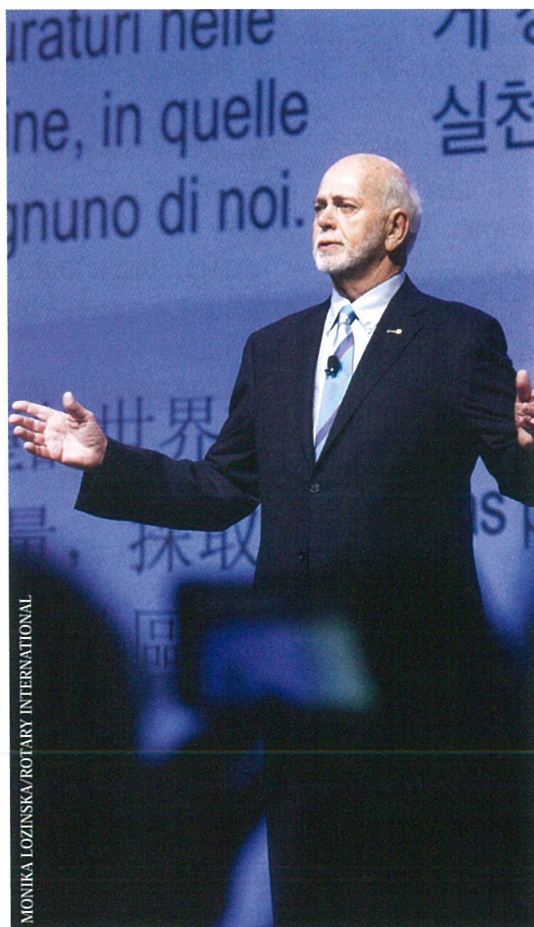
服部陽子さん (第 2750 地区 東京広尾 R C)「このテーマは短くて覚えやすいですが、その持つ意味は深く、広がりがあるので、地区内のリーダーたちにとって役に立つ、強力なものになると思います。ロータリー家族をどのように導いていくか、また、どのようにロータリーを超えて広く世界へのインスピレーションになるかが問われています」

マルコム・カーさん (第 9790 地区 オーストラリア)「このテーマは十分にインスピレーションを与えてく

れるものだと思います。特に、ラシン会長エレクトの「私たちはみな海でつながっている」という話が印象的でした。地区も、クラブも、個々の会員も、そしてロータリーを超えた外の世界もインスパイアしていかななくてはなりません。可能性はピラミッドのように高くそびえています」

ジム・カッパーさん (第 6360 地区 アメリカ)「バリー・ラシン会長エレクトが環境問題を取り上げ、ロータリーの活動内容に取り込んでいくとの話に共感しました。インスピレーションになろうというのは地区やクラブのリーダーたちのメッセージに組み込みやすいテーマです。クラブのインスピレーションになるには、ロータリーが持っている素晴らしいツールの使い方を教えるのも役立ちます」

リンダ・マレーさん (第 5050 地区 アメリカ)「私たちみんながインスピレーションを必要としていますから、このテーマは今ロータリーにとってとても重要です。バリー・ラシン会長エレクトがテーマを広めてほしいと



言っていたので、今夜、テーマについて Facebook に投稿します。会員増強についてもとても大事な意見を提示されていて、新しいアイデアを進んで取り入れていくようにと話してくれました」

—HANK SARTIN

## 2017 - 18 年度ロータリー公共イメージコーディネーター (第 2 ゾーン) の変更

急逝された渡辺治夫氏 (横須賀 R C) に代わって、柳生好春氏 (第 2610 地区 野々市 R C) が就任しました。

## 国際大会 トロントの歩き方



6月23～27日に開催される2018年ロータリー国際大会で、トロントを訪れる方が到着するのは、ピアソン国際空港です。空港からトロントの市街地に行くにはいろいろな方法があります。

タクシーや空港リムジンバスのほか、レンタカーを利用して自分で見て回ることもできます。UPエクスプレスや公共交通機関を使えば節約にもなります。

ユニオン駅行きのUPエクスプレスは空港から15分ごとに出ています。25分の乗車時間で、往復券の価格は24.70カナダドルです (高齢者の方は半額)。

地元の人からTTCの通称で呼ばれる、トロント交通局が運行するバスもあります。路線バスの192 Airport Rocketは市街地まで45分。

TTCはバス、地下鉄、路面電車などを運行する交通機関です。トランスファと呼ばれる紙の切符をもらえ



ば、バスでも地下鉄でも路面電車でも往復でなければ乗り継ぎます。どの区間も約3ドル（高齢者と学生は割引あり）で、支払いは現金またはトークン（チケット代わりになるコイン）で。

大会開催期間中にトロントの観光を予定されている方には、トロント市内乗り放題チケットもお薦めです。デイパスは12.50ドル、ウィークリーパスは43.75ドル（高齢者の方は34.75ドル）。（1カナダドル≒約85円）

— RANDI DRUZIN

国際大会のご登録は

<http://riconvention.org/ja> から

## 今後のRI国際大会

2018年6月23～27日

カナダ・オンタリオ州トロント  
（以下予定）

2019年6月1～5日

ドイツ・ハンブルグ

2020年6月6～10日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2021年6月12～16日

台湾・台北

## 統計

全世界ロータリアン総数

1,230,399人

クラブ数 35,784 クラブ

地区数 539 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 249,757人

クラブ数 10,859 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 512,417人

クラブ数 22,279 クラブ

国と地域 150 以上

2017年11月30日現在

ロータリーの家   
Home Page   
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

 指定記事

ロータリー財団管理委員長の思い

## グローバル補助金プロジェクトに参加しましょう

2017-18年度ロータリー財団管理委員長 ポール A. ネットゼル



各地のロータリアンを訪れるため世界中を旅していると、新しい補助金モデルについて聞か

れることがよくあります。しかし、クラブや地区がグローバル補助金プロジェクトに興味がないと聞くと、いつも残念に思います。

その理由で最も多いのが、「グローバル補助金は複雑すぎる」「大変すぎる」「手間がかかり過ぎる」。または、「ニーズを満たすことのできる十分な地区財団活動資金（DDF）がない」という理由もあります。

とはいえ、統計ではポジティブな傾向も見られます。ロータリー財団100周年にあたる2016-17年度には1,260件のグローバル補助金が授与されましたが、これは前年度比で8%増えています。また、今年度の上半期は昨年よりも数値が伸びています。

皆さまからのご意見、ご感想によってこの変化がもたらされまし

た。グローバル補助金のオンライン申請のプロセスは何度も改善を重ね、申請の審査にかかる時間は大幅に短縮されました。2016-17年度では、申請書の提出から初回の支払いまで平均129日かかっていたのが、2017-18年度では平均107日（2月1日現在）となっています。

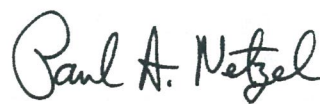
グローバル補助金プロジェクトをまだ実施したことがないクラブは、今利用できるリソースをぜひ見直してみてください。まずは、リニューアルしたロータリー補助金センター（[grants.rotary.org](http://grants.rotary.org)）をご覧ください。右側のコラムにはさまざまなリソースのリンクが張られています。

財団の有能な補助金担当職員は、自身の専門知識と財団のこれまでの経験を生かして皆さまのお手伝いをします。プロジェクトを実施する地区担当の職員に連絡してみましょう。ロータリーサポートセンター（[rotarysupportcenter@rotary.org](mailto:rotarysupportcenter@rotary.org)）に聞けば1営業日以内に連絡先を教えてください（詳細は『友』3月号横組みP47参照）。

ロータリー財団の専門家グループ

は、プロジェクトの立案・実施に関して専門知識や助言を提供するボランティアのロータリアンです。初期段階でプロジェクトの立案について助言が欲しい場合は、[cadre@rotary.org](mailto:cadre@rotary.org)にご連絡ください。

ロータリアンの声に耳を傾けることは、管理委員の大事な役割です。ロータリアンは声を上げています。ロータリアンと管理委員が一緒になれば、私たちはニーズを特定し、寛容さ、創造性、情熱をもってそれに応える、ボランティアの強力な力となります。ロータリー補助金は、国内外でアイデアを現実に変え、持続的な変化をもたらすという比類ない機会を与えてくれます。



Paul A. Netzel  
財団管理委員長

あなたの挑戦は何ですか？  
あなたの考えを [Paul.Netzel@rotary.org](mailto:Paul.Netzel@rotary.org) までお寄せください。



## 新クラブ

愛知三州 (2760・愛知県)

2018年2月9日承認 No.2403

会員数:30人

例会日:第2・4木 18:30

例会場:暮らしの杜 葵ホール1階

事務所:〒444-0813 岡崎市羽根町字

若宮30-1 暮らしの杜 葵ホール2階

会長:林 和夫 幹事:岡田邦義

東京丸の内 (2580・東京都)

2018年2月26日 承認 No.2404

会員数:21人

例会日:第1・3水 12:00

例会場:センチュリーコート丸の内

事務所:〒100-0005 千代田区丸の内

2-3-2 郵船ビルディング1階

会長:尾崎由比子 幹事:白杵紗季

## ◆ 2018 - 19 年度版

### ロータリー手帳 ご予約受付中

今回も各地区ガバナー名、ガバナー事務所連絡先(住所・電話・Fax 番号・Eメールアドレス)、地区大会予定、ロータリー関連の事項を掲載しております。

会員のお声を反映し、手帳本体に週間・月間・翌年度以降の年間予定表をまとめる仕様にして「ロータリー関連資料」の改訂版を付けました。印刷用紙は森林認証紙、植物油インキを使用するなど、環境に配慮した素材で製作しています。手帳の色はロイヤルブルー、サイズは変わりません。

詳細はクラブ宛て2月1日付ご案内状を、ご覧ください。

定価 600 円 + 消費税 (送料別)

ご注文はお早めに、クラブ事務局を通し、ロータリーの友事務所までお願い申し上げます。在庫ある限りの受け付けとなります。

## 地区別クラブ数・会員数一覧表

(2018年1月末現在)

| 地区      | R C 数 | 会員数    | 17年1月末<br>会員数 |
|---------|-------|--------|---------------|
| 第2500地区 | 67    | 2,313  | 2,322         |
| 第2510地区 | 69    | 2,606  | 2,606         |
| 第2520地区 | 79    | 2,301  | 2,320         |
| 第2530地区 | 66    | 2,407  | 2,420         |
| 第2540地区 | 42    | 1,148  | 1,134         |
| 第2550地区 | 51    | 1,775  | 1,743         |
| 第2560地区 | 56    | 2,130  | 2,132         |
| 第2570地区 | 51    | 1,644  | 1,652         |
| 第2770地区 | 75    | 2,642  | 2,611         |
| 第2790地区 | 83    | 2,852  | 2,825         |
| 第2800地区 | 50    | 1,621  | 1,638         |
| 第2820地区 | 55    | 1,996  | 1,994         |
| 第2830地区 | 41    | 1,209  | 1,178         |
| 第2840地区 | 46    | 2,120  | 2,104         |
| 第2580地区 | 69    | 3,066  | 3,081         |
| 第2590地区 | 57    | 2,072  | 2,069         |
| 第2600地区 | 55    | 1,979  | 2,003         |
| 第2610地区 | 64    | 2,693  | 2,671         |
| 第2620地区 | 79    | 3,047  | 3,058         |
| 第2630地区 | 76    | 3,191  | 3,139         |
| 第2750地区 | 99    | 4,805  | 4,860         |
| 第2760地区 | 84    | 4,900  | 4,849         |
| 第2780地区 | 66    | 2,384  | 2,376         |
| 第2640地区 | 69    | 1,887  | 1,926         |
| 第2650地区 | 96    | 4,673  | 4,675         |
| 第2660地区 | 82    | 3,678  | 3,618         |
| 第2670地区 | 74    | 3,064  | 3,032         |
| 第2680地区 | 73    | 2,825  | 2,842         |
| 第2690地区 | 66    | 3,082  | 3,097         |
| 第2700地区 | 61    | 3,239  | 3,221         |
| 第2710地区 | 73    | 3,346  | 3,370         |
| 第2720地区 | 75    | 2,504  | 2,406         |
| 第2730地区 | 65    | 2,387  | 2,396         |
| 第2740地区 | 57    | 2,273  | 2,256         |
| 34地区合計  | 2,271 | 89,859 | 89,624        |

日本のロータリー

会員概数 89,581 人

クラブ数 2,262

(左の表中34地区合計から、第2750地区のPBグループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、PBグループ9 RC 278 人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P6「日本のロータリー」数は34地区合計からPBグループを引いた数。17年1月末PBグループ9 RC 会員数 291 人。

修正 本誌3月号横組みP 49 (12月末) 表中、2800・1,607 人、2750・4,787 人、34地区合計会員数:89,509 人、表外とP6「日本のロータリー」最終行会員数:89,227 人。

ご案内 右記一覧表は、3つのゾーン順で色分けしてあります。表中の左端の色と、右ページP 35 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

\*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載。

\*第2520地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

## ロータリーの友

5月号主要記事予定

横組み 特集 青少年交換学生を受け入れて

縦組み 夢を現実にする 南極で越冬隊員を経験して

第五五南極地域観測隊越冬隊員・つくば市職員 塚本健二

クラブを訪ねて 神埼 RC (佐賀県)

Rotary



ご投稿・ご注文などお問い合わせは——

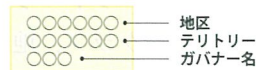
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

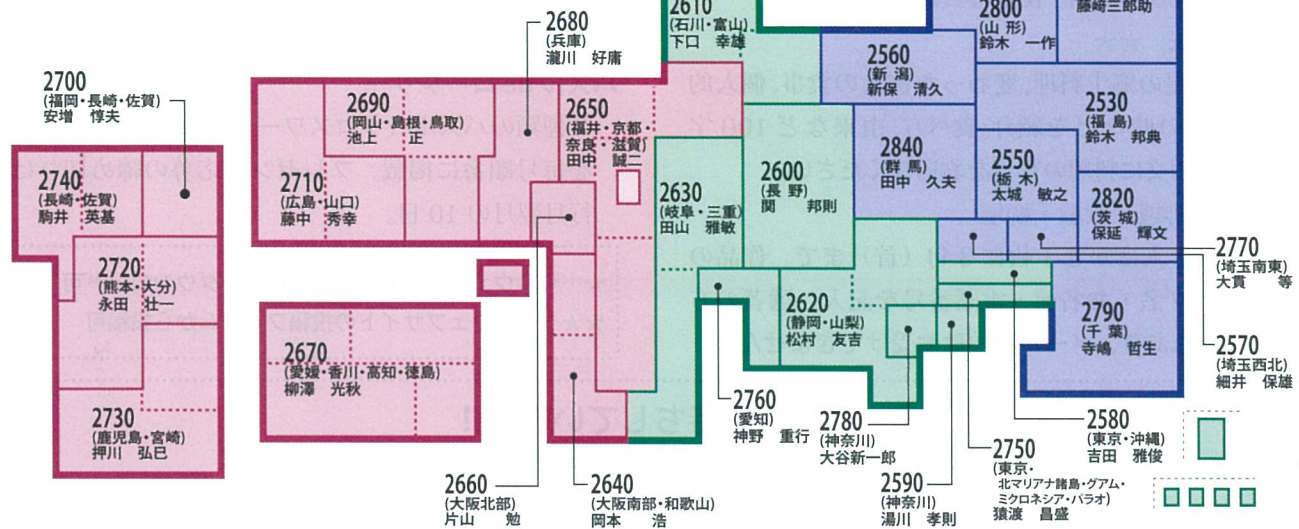
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp





■ 第1ゾーン  
■ 第2ゾーン  
■ 第3ゾーン



『ロータリーの友』ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) に各地区のホームページをリンクしています。

### 月刊 ロータリーの友 第66巻 4月号

2018年3月31日印刷 2018年4月1日発行

一般社団法人  
ロータリーの友事務所

■ 社員 斎藤 直美 (豊田)  
石黒 慶一 (鶴岡西)  
吉田 雅俊 (東京新都心)  
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)  
湯川 孝則 (横浜西)  
片山 勉 (大阪東)

#### ■ 理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)  
理事 片山 主水 (名古屋東南)  
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)  
上野 孝 (横浜)  
安平 和彦 (姫路)  
片岡 信彦 (土浦南)  
橋本 長平 (京都東)  
田中 政春 (長岡西)  
岡部 一輝 (南砺)  
庄司 尚史 (境港)  
松坂 順一 (東京葛飾東)  
服部 陽子 (東京広尾)  
横山 武志 (東京北)  
中里 公造 (川口モーニング)  
堀口 昇治 (東京西)  
野中 茂 (川崎)  
津村 政男 (東京臨海東)  
渡辺 誠二 (東京みなと)

監事 船越 豊 (千葉中央)  
小川 湧三 (川崎鶴沼)  
相談役 板橋 敏雄 (足利東)

#### ■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)  
編集長 野崎 恭子  
編集 稲川 やよい  
黒野 穰二  
山名 愛  
飯田亜由香  
熊谷健太郎  
経理 富澤 美子  
半田 弥生  
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店  
口座番号 (普通) 7450015  
郵便振替 口座番号 00180-8-694591  
印刷 大日本印刷 (株)  
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所  
〒105-0011  
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階  
電話 03-3436-6651  
FAX 03-3436-5956  
編集部メール [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)  
経理部メール [keiri@rotary-no-tomo.jp](mailto:keiri@rotary-no-tomo.jp)  
ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)  
定価 200 円 + 消費税 (送料別)



# ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



## 私の一冊 ★

会員おすすめの本を紹介。詳細は本ページ下を参照。

## 声 ★★

『友』誌についての感想・意見を200字以内で紹介。

対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

## 友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

## わがまちの味 ★★

わが町自慢の郷土料理、変わった例会の食事、個人的な思い出の味などを紹介。食べ方、由来など100字以内の説明文に料理の写真をお送りください。

## ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1か月に1人はがき1枚に3句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

## ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。活動後1カ月以内にご投稿ください。

## ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

内容は写真編と同じ。600字以内の原稿と関連写真を。

## 内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

## パズル de ロータリー

3種類のパズル（クロスワード、数独、スケルトン）を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

★…『友』ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可

★★…『友』ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

## 情報もお待ちしています！

## NEW GENERATION ★

ロータリーのプログラムに参加経験のある10～30代までの若い人（現役・学友）を紹介。推薦対象者（インターアクト、ロータリーアクト、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、本人へ原稿を依頼。

## 『クラブ週報』『クラブ会報』

クラブの『週報』『会報』をご送付ください。「卓話の泉」に掲載するほか、クラブ活動の参考としてご提供をお願いします。メール配信のクラブは、メーリングリストに『友』編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

E メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿方法、その他規定は『友』ウェブサイトで！

ロータリーの友  
Home Page

[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)



至急

## 「私の一冊」に投稿してみませんか？

最近感動した一冊、夢中になって読んだ一冊、ためになった一冊を、ロータリアンの皆さんに紹介してください。

対象となる  
書籍

小説・文芸、新書、実用書、ビジネス書、教養書など。

※写真集、画集、雑誌、自費出版、絶版本以外。また、本人や関係者の著作・監修・販売、自社の本など、応募者と直接関係する書籍以外でお願いします。

**応募資格** ロータリアンおよび家族

**内容**

本文320字以内。書籍名、出版社、発行年、投稿者情報としてお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。表紙画像は編集部で手配します。

記入用紙PDFはこちらから→[www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php](http://www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php)

もっと早く  
読んでおけばよかった…

時間を忘れて  
読んじゃった





石油・ガス  
Oil and LPG

金融  
Finance

小売・流通  
Retail and Logistics

サービス業  
Service industry

宇宙  
Space

制御・組込  
Control and Embedded

建設・不動産  
Construction and Real estate

製造業  
Industry

通信・メディア  
Information

官公庁  
Government

# 企業のICT活用を支え続け、 ビジネスに新たな価値を 創造します。

アイネットは国内最高レベルの安全性を備えた  
次世代型クラウドデータセンターを中心に  
システムの設計・開発、運用・監視、  
プリント・封入封緘、BPO、クラウドなど  
様々なサービスを有機的に連携させ  
多種多様な業種業態のお客様のビジネスに合わせた  
最適なITサービスを提供しています。



アイネットのITが、ビジネスを変える、社会を変える、暮らしを変える。



株式会社アイネット 〒220-8401 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-1三菱重工横浜ビル23F

アイネット









が、当初「市の後援を受けた事業でなければ掲載は難しい」と言われ、急ぎょ市に後援を申請し、何とか掲載してもらいました。今回は、早めに申請したいと思います。

また、次のような反省点、意見が出ました。①相談者に書いてもらう票に、名前のフリガナを書いてもらう。②一時間以上待たせてしまう場面があったので、ウオーターサーバーを設置する。③キッズスペースを設ければ、もっと相談者が集まるのではないかと。

これらを踏まえ、今後とも続けていきたいと思っています。

(河田明成・記)

## その子の

## 「生きる」を支える

大阪リバーサイドロータリークラブ

第二六六〇地区・大阪府

二〇一六年四月一日、大阪市の鶴見緑地（花の万博会場跡地）の一角に、新しい「家」が完成しました。小児がんや心疾患といった生命をおびやかす病気、障害がある子どもとその家族の不安や孤独を和らげ、安心して過ごせる場を提供する「TSURUMIこどもホスピス」。地域に開かれ、地域を支える日本初の「コミュニティ型の子



子どもたちと笑顔で交流

ども専用のホスピスです。

子どもやその家族に寄り添い、「生きる」ことを支える活動が主な役割で、イギリスの「ヘレン&ダグラスハウス」の取り組みに倣って設けられました。クラブでは、このホスピスをいろいろな形で支えています。

今年度はホスピス主催の秋祭りに参加し、地区補助金を活用して遊具を寄付しました。当日は当クラブをはじめ、大阪西RC、大阪心斎橋RCの会員や米山奨学生、大阪西ロータリーアクトクラブの会員ら総勢三四人で、ホスピスのオープンハウスも兼ねてお手伝いをしました。車椅子などで来場した子どもが遊びの中で、キラキラとした笑顔に接し、また家族の安心した表情などを見るにつけ、この「家」の大切さが

分かりました。

一月二十六日には、約三万人が参加する第七回大阪マラソンで、この施設を支援するチャリティーランナーとして、会員二人が登録し、見事完走を果たしました。当日はロータリアンとローターアクターが駆けつけ、声をかちして丸一日応援をしました。チャリティーランナーは一人当たり七万円以上の寄付をお願いしますが、当クラブは一七万円を寄付しました。

(金井塚康弘・記)

## 内外よろず案内

### 全国「みなと」RC会員の集いを！

第二六二〇地区・七尾みなとRC 姥浦 昭二

『ロータリーの友』二〇一六年六月号横組み七〇「三」で、「空港」「川」「さくら」など、共通の言葉を冠するロータリークラブの集まりがあることを知りました。

そこで、わがクラブ名称の「みなと」にちなみ、「みなと」「港」「湊」「ベイ」「ハーバー」を冠する全国のクラブの会員有志と家族を交え、港を共通の生活基盤とする者同士で情報を交換し、友情を深める場を設けられないかと考えました。

わがクラブは一九八六年の創立で、私は創立時の幹事を務めました。二〇二〇年に傘寿を迎える身

た。二〇二〇年に傘寿を迎える身

#### Annotation

##### 地区補助金 (District Grants)

ロータリー財団の使命に当てはまる活動を支援するために、地区に一括で支払われる補助金です。地区は年に一度、補助金を受領し、奨学金や職業研修チーム(VTT)の派遣、奉仕活動の支援、災害救援、地元や海外での奉仕プロジェクトに使うことができます。地区補助金は、ロータリアンがプロジェクトのために柔軟に活用できる補助金であり、その全額は地区財団活動資金(DDF)の配分によって賄われます。

Mail: nanao-minato@noto.jp



員も一緒に田んぼに入って作業し、その後、バーベキューや里山散策など、さまざまな体験を行っています。大変好評で、今年度で第一〇回を迎えました。今回はクラブ創立三〇周年とも重なり、さらにグレードアップ。しかも今年度の会長、副会長、幹事、SAAの四役は、全員地元で活躍する女性経営者たち。これは全国的にも大変珍しい、いやロータリー始まって以来の快挙(?) かもしれません。その女性四役が中心となり、田植えの前から準備に奔走し、一〇月八日に、稲刈りを無事に終えることができました。

当日は朝から里山を散策した後、稲刈りをし、その後はバーベキュー。子どもたちの明るい声が飛び交い、子育てに悩む母親たちの相談にも女性会員が率先して応じていました。



親子で稲刈り作業

二月二八日には収穫したもち米で餅つき大会を開き、出来たてのお餅に舌鼓を打ちました。年々参加希望が増えるこの事業、クラブと共に継続・発展させていきたいと願っています。

## 小学生と米山奨学生との国際親善交流会を開催

岩出山ロータリークラブ  
第二五二〇地区・宮城県



体育館で歓迎の真山太鼓の演奏

一月一六日、当地区の米山奨学生五人(ベトナム、韓国、モンゴル、中国出身)を招き、大崎市立真山小学校の児童四九人との交流会を開きました。当日は当クラブと近隣クラブの会員や米山カウンセラーが参加し、一限目に体育館で奨学生の自己紹介の後、児童による歓迎の真山太鼓の演奏、真山

音頭の踊りが披露されました。二限目は奨学生たちが授業を担当し、児童は学年ごとにクラスを回り、各国の言葉や紙幣、遊びなどを教えてもらい、目を輝かせていました。奨学生の一人は「日本の子どもたちと接する機会が少ないので、良い経験になりました」と語っていました。

給食の時間には各教室で奨学生が共に食事し、児童との交流を深めていました。また、ロータリアンはその間に特別教室で例会を開きました。

この事業は当クラブの青少年奉仕委員会と国際奉仕委員会が担当し、今回で一五回になります。同市岩出山地域の五つの小学校と一つの中学校を順に訪問し、授業として取り入れてもらっています。この体験を機に、当地から国際色豊かな人間が育つことを期待しています。岩出山地域では今春、小学校の統廃合があり、一中学校一小学校となりますが、次回以降も形を変え、継続していきたいと思えます。

## 無料合同相談会

相模原グリーンロータリークラブ  
第二七八〇地区・神奈川県

一月一九日、相模原市民会館にてクラブ主催の「無料合同相談会」を行いました。相談員となったのは会員の

弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、建築士、宅地建物取引士。その他に支援要員と職業奉仕委員のメンバーの計一五人が出席しました。

当日は三三人の相談者が訪れました。こうした相談会としては、かなりの盛況ぶりではないでしょうか。終了後、相談者にアンケートをお願いしたところ、「定期的にやってほしい」「不安が解消された」「丁寧な説明で、分かりやすかった」といった好意的な意見ばかりで、大変うれしくなりました。会員からは「とてもロータリーらしい奉仕活動だ」「来年もやろう」という意見が多く、企画した職業奉仕委員としても充実した一日となりました。事業を広報紙に掲載してもらいました市の広報紙に掲載してもらいました



さまざまな相談に応じる会員たち



## 子どもたちに スポーツのきつかけを

笠岡ロータリークラブ  
第二六九〇地区・岡山県

当クラブでは、小学生を対象にした少年少女サッカー大会「笠岡RC杯サッカー大会」を一年にわたり開催。現在では六四チームが参加する、地域で最も大きな大会へと成長しました。その成果もあり、毎年この大会を楽しみにしているという声を数多く聞く一方、キッズ世代がスポーツに親しむきっかけづくりをしてほしいとの声も耳にします。そこで今年度は地区補助金を活用し、保育園・幼稚園児を対象に「キッズサッカーフェスティバル」を開催しました。

当日の十一月二十六日は、プロサッカー・なでしこリーグ二部に所属するFC吉備国際大学「シャルム」で活躍する現役選手八人をコーチに招いて開催。コーチが女性で、中には保育士を目指している選手もいるからでしょうか。参加した子どもたちは、始めるとすぐに心を開き、楽しそうにボールを蹴っていました。

近年、子どもたちが気軽に遊べる場が減少し、スポーツへのきつかけづくりが難しいと言われています。そうし



子どもたちの笑顔があふれたイベント

た機会をつくり、なおかつ地域自慢の天然芝のグラウンドがある笠岡陸上競技場が会場ということで、子どもたちは思いっきり飛んで、跳ねて、転びながら運動ができました。多くの子どもたちへのきつかけづくりができたこと、見守る保護者の笑顔、そして何より子どもたちの笑顔を見て確信しています。

## 豊山町子ども会 リーダーシップ研修

名古屋城北ロータリークラブ  
第二七六〇地区・愛知県

当クラブでは地区補助金を活用し、十一月二五日に春日井市少年自然の家で「豊山町子ども会リーダーシップ研修」を開催しました。クラブでは継続

して地域のジュニア育成をサポートしており、今回の事業は、豊山町の教育長、子ども会連絡協議会会長と協議して実施に至りました。

小学生三四人と、地域のジュニアリーダーの高校生三人、会員一五人が参加し、午前九時の開会式に続いてクラブからオリジナルTシャツを贈呈。その後は、組織開発(OD)コンサルタントの高橋妙子氏を講師に研修を行いました。

遊びを通してのリーダーシップに関するミニレクチャーの後、グループに分かれて昼食のカレー作り。会員も加わり、火をおこし、野菜を刻み、飯ごううすいさんなど、普段あまり経験しない作業に苦戦しながらも、無事完成にこぎ着けました。午後はバルーンアートを体験し、一日の振り返り、修了証の贈呈へと進みました。

小学生たちは「他の小学校の人たちと協力して、何かをするって楽しい。今日学んだことを生かしてコミュニケーション能力を高めて、たくさん友達をつくりたい」「カレー作りでは、火おこしの煙で目が痛かったり、後片付けも大変だったりしたけれど、完成したカレーの味は格別でした。家族に作ってあげます」など、元気に話してくれました。子どもたちと会員がハイタッチで別れのあいさつをしている光



苦戦しながら昼食のカレー作り

景が印象的でした。

(長谷川幸正・記)

## 尼崎南ロータリー村 女性会員でグレードアップ

尼崎南ロータリークラブ  
第二六八〇地区・兵庫県

当クラブでは、二〇〇七〜〇八年度から神戸市北区の農家の協力を得て、「尼崎南ロータリー村」を運営。クラブ内に尼崎南ロータリー村プロジェクト委員会を設置し、次代を担う青少年たちに「米づくり」を通じて日本文化や人が生きるための原点として、「食」と「環境」について考えてほしいと、事業を展開しています。

尼崎市内の小学生と保護者を対象に、春の田植えから秋の稲刈りまで、会



# ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

## タンザニア野球 オリンピックチャレンジ

大阪北ロータリークラブ  
第二六〇地区・大阪府

クラブ創立六五周年を記念し、三カ年にわたる奉仕事業「タンザニア野球オリンピックチャレンジ支援プロジェクト」をスタートさせました。

タンザニアで、国際協力機構（JICA）のボランティアが野球の指導を始めたのは二〇一二年。「目指せ東京オリンピック」をスローガンに、野球を通じてタンザニアの青少年育成を支援する活動で、苦しい練習を乗り越えて勝利を目指す過程で、青少年が「Justice（正義）、Respect（尊敬）、Discipline（規律）」の三つを学び、身につけることを目的としています。これは、ロータリーの「四つのテスト」

に通じるものがあると考えています。

「国づくりは、人づくりから」と言われます。近い将来、彼らが国の中心となって活躍する時、野球から学んだ三つのことが大いに役立つと確信しています。タンザニア政府も活動の趣旨を理解し、価値を認め、この事業に協力してくれています。

一月一日〜三日には第五回全国大会（大会名KOSHIEEN）が開かれ、われわれも現地を訪問。開会式には、タンザニアの担当大臣が急きょ出席され、吉田雅治在タンザニア日本国大使、当クラブの吉川健之副会長の三人で始球式を行い、大いに盛り上がりました。

さらに、この事業の開始にあたり、日本と並ぶ野球先進国、韓国と台湾の姉妹クラブである南ソウルロータリーク



2020年の東京オリンピックを目指して

ラブ（RC）と台北北區RCからも賛同を得て、協同で活動することになりました。

大会後には、タンザニア政府から三クラブの支援に対し、感謝状をいただきました。次年度以降も力を合わせ、支援していきたいと考えています。タンザニア関係者も必ず大きな成果につながってくれると思います。

## ソフトボールで 日本代表候補に挑む

多治見リバーサイドロータリークラブ  
第二六三〇地区・岐阜県

わがクラブがスポンサーとして支援するインターアクトクラブがある多治見西高校には、二〇二〇年の東京オリンピックソフトボール日本代表エース候補の勝俣美咲投手がいます。その激励と応援のため、果敢（いや無謀）にも試合を申し込み、一月二五日、ソフトボール部との強化（親善）試合に臨みました。

あの日本代表エース・上野由岐子投手が後継者に指名しただけあって、その球の速さは、列車に例えるなら新幹線のぞみそのものであります。

第一試合は〇対一九の完封負け。第二試合は二対一三、お情けの一点。と



勝俣投手（前列右から3人目）を応援し、用具を寄贈

はいえ、全国大会に出場する強豪チーム相手に、われわれも〇点に抑えるイニングがあり、事前のキャンプのおかげか、けがもなく無事に「胸を貸す」ことができたと思います。オジサンたち相手の試合に、選手たちも楽しみながら、もちろん手加減もしてくれながらの和やかな雰囲気でした。

最後にクラブからボールや用具を贈り、今後ますますの活躍を祈念しました。勝俣投手には必ず東京オリンピックでエースとしてマウンドに立ち、世界を相手に日の丸の底力でもって、金メダル獲得を目指してほしいと思います。クラブでは彼女にエールを送ることで、将来の日本の希望のために奉仕できたものと、勝手に思っています。

（河人宗寿・記）



# ROTARY AT WORK



## 年越しそばと カウントダウン花火

〈小松島RC〉

「第2回小松島カウントダウン花火」を主催。昨年はロータリー財団創立100周年記念事業で実施。今回は小松島市と県の補助金を活用し2回目の開催となった。花火に先立ち、婚活イベントを開催し、4組のカップルが誕生。会員夫人有志の協力で年越しそばとうどんを作り、来場者に無料提供した。約1000人が真冬の花火1000発を堪能した。  
(12月31日 第2670地区 徳島県)

ROTARY AT WORK



## スマホで不明者探しの スタンブラリー

〈大津中央RC〉

スタンブラリー「スマホdeハント」を開催した。スマートフォンを使い、小型発信器を装着した徘徊（はいかい）高齢者役2人と、行方不明の子ども役を捜索してスタンプを集めるというもの。行方不明者の現在位置を特定する支援システムとして、安心安全な街づくりの実現に向けて、活用が期待できる結果となった。  
(11月25日 第2650地区 滋賀県)

ROTARY AT WORK



## 地域密着 オリジナルカレンダー

〈七尾みなとRC〉

地区補助金で「七尾こども未来プロジェクト」を実施した。地域に貢献できる人材の育成が目的で、七尾市と同市教育委員会の協力を得て、市内小中学生を対象に「地元の祭り・文化」をテーマに絵画を募集した。応募作品248点のうち、優秀作品36点を使ってカレンダーを制作。市内の全小中学校と公共機関に配布した。  
(12月15日 第2610地区 石川県)



## 笑顔でいきいき！ お年寄り交流会

〈加茂RC〉

「第41回さわやかドライブ」を実施した。家に閉じこもりがちな高齢者を、自然豊かな野外や観光地に連れ出し、普段とは違った雰囲気を楽しんでもらう催し。秋晴れの中、61人の一人暮らしの高齢者が参加し、白鳥の憩う瓢湖（ひょうこ）や、豪農旧宅である市島邸、北方文化博物館などを巡った。会員企業のマイクロバス3台を用意し、会員14人が同行した。  
(11月3日 第2560地区 新潟県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真（集合写真）は掲載できません。

ROTARY AT WORK



# ROTARY AT WORK



## 留学生と餅つき大会

〈横浜南RC〉

横浜国立大学の留学生に、日本の文化や風習を知ってもらうため、同校の留学生会館で餅つき大会を開催した。クラブで30年以上前から続く、伝統的な国際奉仕活動となっている。当日多くの留学生、インターアクターやローターアクターも参加し、つきたての美味しいお餅や、雑炊、焼きそばなどを楽しんだ。

(1月21日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK



## 20回目の少年野球教室を開催

〈日立RC〉

日立市で活動する社会人野球の強豪・日立製作所野球部と共催で毎年実施してきた少年野球教室が20回目を迎えた。今回は市内の野球スポーツ少年団全17チームの選手181人が参加し、野球教室、対抗リレーに汗を流した。プロ入団予定の3選手も交えて記念撮影やサイン会も設け、大いに盛り上がった。

(12月9日 第2820地区 茨城県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

## 地元の祭りでもクラブの存在をアピール

〈千歳RC〉

「第40回千歳・支笏湖氷濤（ひょうとう）まつり」の開催期間中、会場を一望できる氷の天空回廊に、4月のクラブ創立50周年を記念し、スポンサーとして看板を設けた。骨組みに湖水を吹きかけて作る氷像やモニュメントには、それぞれスポンサー企業の看板が掲げられるが、企業ではない団体は例がないと注目され、訪れた人にクラブの存在をアピールできた。

(1月26日～2月18日 第2510地区 北海道)



ROTARY AT WORK

## 学ぼう日本語 海外日本語学校を支援

〈大宮中央RC〉

地区補助金（海外特別枠）を活用し、カンボジアのシエムリアップにある山本日本語学校に、テレビ、コピー機、DVDプレーヤー、ソフトを寄贈した。贈呈式にクラブから8人が参加。60人以上の生徒と職員が歓迎してくれた。生徒は日本語で校内、教室、寄宿舎を案内。卒業後は日本語を学んだ就職を希望しており、映像機器の活用で、より流ちょうな日本語習得をと、目を輝かせていた。

(11月17日 第2770地区 埼玉県)





# ROTARY AT WORK



**子どもの読書習慣の  
きっかけに** 〈藤枝南RC〉

江崎直利会長の職業分類は書店。県内に2人しかいない国立青少年教育振興機構認定の「絵本専門士」の資格を持つ。絵本を通して、社会に心の豊かさや暮らしに潤いをもたらそうと、クラブが行う「お花畑でお話会」でも、ボランティアが読み聞かせる絵本や紙芝居の選定に尽力。9回目のお話し会はコスモス畑で開催し、地域の子どもや保護者が花とお話を楽しんだ。

(11月3日 第2620地区 静岡県)

ROTARY AT WORK



**桜が咲くのが待ち遠しい** 〈鳥栖RC〉

「桜3月散歩道」と銘打って、鳥栖商業高等学校1AC、スイスから来日した青少年交換学生も交えて桜の植樹を行った。場所はサツカースタジアム（J1サガン鳥栖の本拠地）に隣接する公園のため、普段から多くの市民の憩いの場となっており、クラブも以前より花見例会を実施するなど、普段から親しんでいる。

(11月18日 第2700地区 佐賀県)

ROTARY AT WORK



**御影石製の  
ベンチからの眺め** 〈佐土原RC〉

10年前にクラブ創立20周年記念事業として宮崎市の宝塔山公園に10本のギョイコウ（桜の一種）を植樹した。クラブ創立30周年記念の今年度は、同公園に御影石製のベンチを3基寄贈。公園のある高台からの眺めは良く、花見シーズンには多くの市民が集まることから、憩いの場として石造ベンチが利用されることを期待している。

(12月17日 第2730地区 宮崎県)

ROTARY AT WORK

## もしもに備えて AEDの使い方を学ぶ

〈高浜RC〉

AED（自動体外式除細動器）の使い方が学べるAEDトレーナーを「高浜市応急手当普及ボランティアの会」へ寄贈。市立高浜小学校で贈呈式を行い、6年生が講習を受けた。ボランティア指導で、グループに分かれた児童と一緒に心肺蘇生・人工呼吸の訓練を行った。同市はAEDの講習受講者が市民の半数を超えているが、今後もクラブとしては知識と技能を修得するための取り組みを続ける。

(11月29日 第2760地区 愛知県)





# ROTARY AT WORK



**希望の光  
110プロジェクト**  
〈彦根RC〉

滋賀県立盲学校の創立110周年を記念し「希望の光110プロジェクト」を行った。在校生と保護者、会員ほか、総勢300人以上が参加。同校出身でバリンピック・競泳競技メダリストの木村敬一選手が講演し、メダル獲得までの道のりや、やりきることの大切さを語った。クラブは拡大読書器を贈呈。彦根エコーオーケストラの演奏も楽しんだ。

(11月10日 第2650地区 滋賀県)

ROTARY AT WORK



**豊の上で郷土かるた大会**  
〈小松東RC〉

小松市桜木体育館柔道場において「第8回こまつかるた大会」を開催、市内6校の小学4～6年生23チーム67人が参加した。かるたは地元風の偉人・風景を詠んだもので、今回は新しい文案も募集し、196作の応募があった。目を輝かせ、真剣勝負に集中する子どもたちを教師や保護者たちが応援、白熱した大会となった。

(11月12日 第2610地区 石川県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**南国の植物に囲まれた  
職場訪問例会**  
〈宮崎RC〉

職場訪問例会で、宮崎の観光地・青島にある亜熱帯植物園「宮交ボタニックガーデン青島」を訪問した。シンガポール植物園と姉妹植物園関係にあり、大温室にはマレーライオン像がある。プーゲンビアやジャカラランなど南国の花々が多く展示されており、宮崎ならではの明るい雰囲気。会員たちは係員の説明を聞きながら熱心に見学し、楽しいひとときを過ごした。

(11月7日 第2730地区 宮崎県)



ROTARY AT WORK

**寄贈した焼き芋機が  
施設まつりで活躍**  
〈広島西南RC〉

地区補助金を利用し、障害者支援施設「愛命園」に焼き芋機を寄贈した。施設では毎年、勤労感謝の日地域住民も参加する「施設まつり」を開催しており、今年は寄贈した焼き芋機を使って会員と地域の女子高校生6人が焼き芋販売とバザーの手伝いを行ったほか、会員による歌謡ショーも披露し、祭りを盛り上げた。

(11月23日 第2710地区 広島県)







# ロータリー アットワーク

ROTARY  
AT WORK 写真編

## 世界遺産・宮島で 留学生を招き国際交流

広島西ロータリークラブ  
第2710地区 広島県

広島西RCは過去20年にわたり、広島大学の外国人留学生を招いて宮島の弥山に登り、紅葉谷公園を散策するなどの国際交流をしてきました。20回目の今回は、国籍、宗教などの異なる参加者が一緒に日本文化を体験するとともに、仏教の一端を学ぼうと企画。参加した留学生の国籍は韓国、モンゴルなど近隣アジア諸国のほか、キルギス共和国、フィンランド、南アフリカ、アメリカなど19カ国で、宗教も仏教、キリスト教、イスラム教各派など多彩な顔ぶれ。ロータリアンを含め48人が参加しました。

11月19日、宮島に渡った後、まずは300年の歴史を持つ徳寿寺の一部を改装した日本文化体験施設「Okako Japan（おけいこジャパン）」を訪問。日本庭園と着物姿の女性に出迎えられ、禅寺の各部屋を案内してもらい見学。その後、全員が着物姿になり、抹茶用の干菓子を作る班、茶道のお点前を習う班、和紙と筆で書道を習う班に分かれ、それぞれ日本文化を体験しました。

元の服に着替えた後は混雑の少ない古道を通って厳島神社に入り、回廊を参拝し、宮島最古の寺院・大聖院に登りました。806年に唐から帰った空海が、弥山で修行し開いたといわれる、歴史ある大本山です。吉田正裕座主の講話を聞き、重要文化財級の仏像などを間近で見学。荘厳な雰囲気浸った後は、真言宗のお坊さんが食べる精進料理。若者にはカロリー不足を補おうと(?)少量の野菜カレーが付きしました。帰りのバスの中では、全員感激の面持ち。私たちロータリアンも勉強になった一日でした。

(井原俊彦・記)



日短の灯りで待てり宿の主

千葉・野田 佐野 浩平

鄙里の萬葉歌碑に差す初日

千葉・野田 高梨昇一郎

朱に染めて初日あまねく野に山に

東京西南 菊池 恭三

平成も三十年や今朝の春

東京蒲田 阪田 昭

腰痛をなだめすかして去年今年

神奈川・横浜旭 吉原 則光

富士山のぐんと近づく三ヶ日

神奈川・横浜北 三ツ堀哲宗

注連飾る舳先混み合ふ船溜り

愛知・瀬戸 玉井美智子

初みくじ結ひたる縄のま新し

愛知・瀬戸 沢田 充子

しぐれ雲分けて三山指呼のうち

奈良 寺田眞佐子

ひろがりて枝の先まで梅の花

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

多事過ぎてこともなげなる古暦

兵庫・神戸西 村野 利昭

本堂の無き山寺の冬紅葉

兵庫・神戸東 壺井 醇

初夢や傘寿の吾を忘れをり

徳島・鴨島 長野宏一郎

この雪に禁酒の籜の解けにけり

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

山茶花や己が家系に医師ひとり

埼玉・日高 落合 好雄

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

夜祭の宵宮山車のすれ違ひ  
ひとひとつの秩父夜祭

東京 新 欣樹

ガーシュインがピアノ弾きたるレコードに  
針置くときの心青春

東京ワセタ 福地桂之助

新しき布巾ひろげて煮こぼせば  
出しより湯気はましろに立ちて

熊本水前寺公園 北里美知子

『どがんでん楽しかヨ』と母は言い  
卒寿の春をライサービスへ

佐賀大和 古賀くみ子

雪の夜明くれば山は薄化粧  
着物の妻見ること新鮮

愛知・新城 鳥居 栄一

引退のわれに今更新年の  
折詰届く元社員より

東京荒川 井上 久子

孫子等の集い来りて新年を  
迎える前の掃除うれしく

新千葉 菊地 忠

夫逝きて一人で生きし二十二年  
三人の子等の成長糧に

島根・出雲南 小村 尚子

開院五十年苦勞を笑顔で語る夫  
集う友らの期待の相つち

石川・金沢百万石 石丸 恭子

伸びをして肩腰痛み走れども  
生きてる証今日が始る

千葉・富里 寒郡 政雄

ほほゑみと励しくる汝こそは  
他に換へがたき我が宝なり

神奈川・川崎西 吉田 恵一

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

コップ酒そこに男の海がある

青森・五所川原中央 小野 順蔵

好きだった忘れな草の名も忘れ

埼玉・熊谷龍原 森田 光彰

隠れんぼ鬼が残した茜雲

高知西 山岡 陸宏

冬二十日辛抱すれば春見える

秋田・能代 近 茂寛

続かない助走に力入れすぎた

長野・辰野 河手 欣哉

去った年回転寿司が運んでく

埼玉・入間中央 大野 快三

マスク顔風邪も会話も防いでる

山梨・甲府北 土橋 幹夫

いそいそと今日も楽しく旅支度

岐阜南 広瀬 之彦

見る時でご来光とか夕日とか

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

門を出てどこに行こうか立ち止まる

高知西 小野山敬一

太りたい特集ないの健康誌

鳥取 塩 宏

墓参り隣はどなた気にかかる

長崎・諫早 下釜 貞志

懸命に生きるしかない不器用さ

福岡イブニング 菊池 文彬

備忘録どこに置いたか探してる

岡山・倉敷東 遠藤 堯之

月初め柳壇を読み苦笑い

東京池袋 小泉 博明

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛





稲畑 汀子 選

幾度も予定確かむ師走かな

岐阜・高山西 小森 丈一

一年の最後の月の師走は、一年を締め括（くく）るために、いろいろしなければならぬことが多い。また、新年を迎えるために準備もある。作者は、たくさんの方の予定をノートに書き込んで、それらを一つずつ確かめては果たし、済めば消していく几帳面（きちようめん）な性格であると想像される。いかにも師走らしい一句である。師走というだけで、忙しいとか一年の折り目であるとか、さまざまな事柄が伝わってくるのも季節の働きである。

手作りにこだはる妻の師走かな

京都伏見 藤井 正夏

新年を迎える主婦として、作者の妻は格勤（かつきん）に働かれる方のように想像される。それは、素晴らしいことである。しかし最近では、いとも簡単に、買うことのできるお節料理などがあるが今もなお、手づくりで準備をされるのであろうか。作者は、そのような妻を誇りとしているのである。御夫婦の会話が聞こえてきそうな、感じのいい一句である。

初市や威勢濁声息白し

群馬・館林 新井 進

水ぬるむ音がうれしや山の里

埼玉・浦和ダイヤモンド 高橋 宜治

今もって柚子を下さる亡き妻に

千葉・市川 照井 親資



佐佐木幸綱 選

冬帽を今日もかぶりて夫を見舞ふ  
静かに本を読んでいる夫

奈良 吉田 佳代

入院している夫を見舞う歌です。急病とか容態が悪いとかいうのではなく、昨日も一昨日も来て、今日もゆったりとした気持ちでの見舞いのようです。

帽子のこと、本のこと等、お互い信頼しきって、いい意味で相手が空気のような当たり前の存在になっている夫婦の空気が読めるようで、そこがこの作の持ち味になっています。

傘さしてすべるわねえと言いながら  
二人並んで雪道歩く

長崎出島 伊東 浩子

雪国の雪とちがつて、雪に馴（な）れない土地での積雪時の空気が、うまく表現されています。どつさりと降り積もる北国の雪ならば、たぶん縦に並んで歩きます。横に並んでは歩けません。カッコを使っているかもしれませんが、会話を上手に使用して、現場感というか臨場感を出す工夫が成功しています。相手もたぶん「すべるわねえ」と相づちをうったのでしょうか。

研修の講師にすまぬ思いあり  
前夜の酒がまだ消えぬなり

群馬・館林 新井 進



てじま晩秋 選

夢の中みずゝの世界よみがえる

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

金子みすゞ（一九〇三〜三〇）はあの故・西條八十先生が「若き童謡詩人の中の巨星」と賞賛された女性。五百余編もの詩をつづつたとされている。惜しくも早世されたがわれわれ、文芸人には永遠の詩人です。

人生のワザビと思え妻の口

新潟 小林 悟

おおむねの男性は自らのことを「亭主閑白」であると考えていたのでは。しかし最近の世の流れの中で願望に過ぎなかった……と思ひ知りました。でも、それが正解だったのでしょうか。

人の世はこれに似てるか流れ星

北海道・斜里 辻 舒宏

註記に「一二月中旬、ふたご座流星群を見ました」等ありました。寒空の下、多数の流れ星を観測。美しく儚（はかな）いヒトリトキ、辻舒宏さん、佳き冬の夜をご夫妻にて楽しめましたね。

犬派より猫派増えても干支になし

富山・射水 江守 正

昔から圧倒的に犬派が多かったとか。最近その傾向が逆転した。主な原因はこも少子高齢化です。犬は毎日散歩させなければ……。でも犬を干支からはずすわけにはいきません。

京言葉真似してはんなりと化かす

大阪西 鴨谷瑠美子



## 慢性腰痛について

片岡鍼灸整骨院 院長 片岡 聡

腰が痛い状態になって三カ月を過ぎても痛みが取れない場合は慢性腰痛と呼ばれます。日本人の多くが悩む腰痛ですが、その八五割は、原因が特定できない「非特異的腰痛」とされています。

カナダのマギル大学で六カ月を超える腰痛の患者一八人の共通点を調べたところ、健康な人に比べて脳のDLPFC（背外側前頭前野）の体積が極端に少なく、活動も衰えていることが分かりました。DLPFCは、脳全体に痛みを鎮める信号を出していますが、その働きが低下すると、腰は治っているのに痛みだけを感じている状態になります。DLPFCが衰える原因は、強い恐怖心が関係しており、これが幻の痛みをつくっていると考えられています。解決するには恐怖心を克服する必要があります。一度でもぎっくり腰を経験した人は相当な痛みを覚えていて、身動きの取れない状態を恐れており、その気持ちが腰痛を悪化させている可能性があります。では、恐怖から脱出する方法はあるのでしょうか。

一つ目は映像です。一〇日間同じ映像を

見て腰痛の正しい知識を身に付け、無用な恐怖心を減らす試みを行ったところ、これだけで一七五人のうち、三八割の人に効果がありました。二つ目は、「これだけ体操」を通じて恐怖心を脳から消すことを覚えさせます。この体操は、東京大学の松平浩氏を中心に普及に努めています。両足を肩幅より少し開いて立ち、両手の指を下向きに臀部に当てます。顎を引き、口から息を吐きながらゆっくりと上体を反らして「気持ちいい」ところでストップさせ、三秒間そのままの姿勢を保ち、戻します。これを一〇回繰り返します。一つ目と二つ目の方法で、五六割の人に腰痛改善が見られました。

今、注目を集めている治療法が、痛みについての誤った認識を修正する認知療法と、痛みと行動の関係を知り、日常生活でできることを増やしていく行動療法を組み合わせた認知行動療法です。運動を取り入れることでストレスを和らげ、脳自体も変化します。勧められている運動の一つに歩行があります。歩いていると次第に心の悩みや苦しみから解放されます。全身の筋肉を動かすため、脳は歩くことに集中し、他のことに意識がいなくなるからです。

（第二六六〇地区・大阪府・大阪大淀R.Cにて・同R.C元会員）

## 現代アートが未来を描く

京都南R.C 本間 満

京都で約五〇年にわたり、画廊「大雅堂」を経営してきた著者が「現代アートの魅力」をまとめた一冊。現代アートの特質を「既存の価値観やルールを疑い、壊し、新たな歴史を生み出すもの」とした上で、「現代アートによる新しい価値観が、より良い未来を描く原動力になる」という点を主軸に、現代アートとは何か、社会や未来にどう影響していくのかについてつづっている。

本書を読み、経営にはゆとりが必要と考えるようになった。遊びやスポーツもゆとりの一種だが、現代アートの鑑賞は最も脳の活性化に役立つ。また、既成概念にとらわれない発想を考えるヒントとなり得る本である。

現代アートに詳しい兵庫県立美術館館長の蓑豊さんが推薦の言葉を寄せている。ぜひ、ご一読ください。（第二六五〇地区 京都府）



庄司恵一 著  
方丈堂出版  
2017年10月刊

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、感動した本を紹介。320字以内。詳細は横組みP36「投稿規定」を参照ください。



卓

話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

## 司会のワンポイント

ピュア代表 宮内ゆり子

マイクを使って、司会の声をより届けやすく、聞きやすくするためには、おなかから声を出すということが大切です。腹式呼吸は人が寝ている時に行っているといわれますから、あおむけになり、リラックスした状態でそのまま声を出してみるとよいでしょう。おなかに手を当て、声を出す時におなか膨らんでくれば腹式呼吸です。これを意識できたら、次は起き上がり、同じように声を出してみましよう。

司会では、日常の言葉よりかなり遅めのスピードを意識して話を進めます。自分で

は「これでは遅いかな?」と思うくらいゆっくりとした言葉のリズムを心掛けることで聞き手は理解しやすくなります。

長い文章を読む時は、台本に息継ぎの斜め線(〃)を書き込むことで、一つ一つの言葉を発しやすく、文がより滑らかに読みやすくなります。人によって息継ぎしやすい部分は異なりますが、自分の癖などを把握し、読みやすくする工夫をしましょう。つかえの防止につながるかもしれません。

誰しも苦手な音があります。例えば「さ行」が苦手で「○○させていただきます」が言いにくい人は、魔法の音「ん」の挿入が効果的。「させて」を「さんせんてん」と、文字間に「ん」を挟んで繰り返し発声練習すると「させていただけます」も言えるようになります。もちろん、苦手な言葉は焦らずゆっくり発声しましょう。

最後に、司会で最も大切なことは、活字にはない声という音の温度です。言葉には温度があります。この温度は不思議と話し手の表情からつながり生まれるもの。口角を上げて明るい笑顔で発した音は、心に届く言葉になります。聞き手の心に近づく言葉で司会をすることが、魅力的なトークの基本でもあります。

(第二八四〇地区・群馬県・館林RCにて)

## 私の一冊

スタンフォードの脳外科医が教わった

人生の扉を開く最強のマジック

茅ヶ崎RC 小澤 雅彦

アルコール依存の父、うつ病を患った母、同性愛者の兄と、複雑な家庭環境で育った著者。片田舎の街で何の希望もなく過ごしていた中学二年になる前の夏休み、ある夫人との出会いをきっかけに、自分を変え、人生を変えていく実話です。

脳外科医となった著者は、最新の脳科学と自分の体験から「脳が変わると、人は変わる。(中略)心が変わるとすべてが変わるということだ。世界に対する自分の見方が変わるだけでなく、自分に対する世界の見方が変わる。そして自分に対する世界の反応が変わる」と述べています。

今年度の国際ロータリーテーマ「ロータリー…変化をもたらす」とも一致するこの本は、すべてのロータリアンにお薦めできる共感の物語です。

(第二七八〇地区 神奈川県)



ジェームズ・ドゥティ 著  
関美和 訳  
プレジデント社 2016年11月刊



という思いを共有できたことが、二〇〇〇回のお祝い例会を開催した意義だったと思います。ロータリーの奉仕活動も含め、「当たり前のことを当たり前のように続けていく」ことがどんなに重要か、この記念例会が改めて気付かせてくれました。心より皆さんに感謝したく、またこの仲間を大切にする奉仕の理念という財産を、次世代に引き継いでもらいたいです。

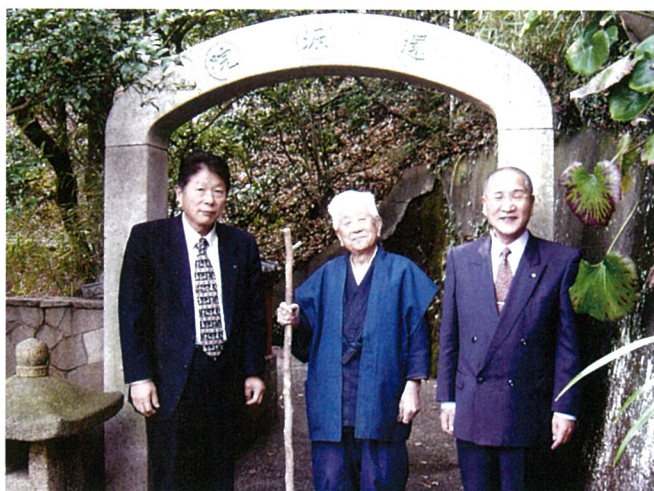
(第二七九〇地区 千葉県 税理士)

## 人生最高の宝物 佐藤千壽さんとの出会い

観音寺 三谷 利憲

ロータリーではメイクアップが大切だといわれます。しかし、単に出席補填に終わるのではなく、インターシティーミーティング（IM）や地区大会、国際大会などに積極的に参加して、人との出会い、触れ合い、縁、絆を大切にして良いチャンスを作り、自己研鑽ができれば素晴らしいことです。入会して四五年ほどになりましたが、そのことを身をもって体験できた鮮烈な思い出があります。それは、東京東RCの故・佐藤千壽さんとの出会いです。

初めてお会いしたのは二〇〇四年、地区協議会（現地区研修・協議会）が観音寺で開かれた折のこと。当時、地区代表副幹事を務めていた私は、講師をどなたにと、大西栄光会員と相談した結果、はんだメーカーで有名な千住金属工業（株）の会長であり、第二五八〇地区バスターガバナーの佐藤さんをぜひお迎えしたい、という



打ち合わせで佐藤氏宅を訪問。左から筆者、佐藤氏、大西会員

ことになりました。『友』に掲載されていた佐藤さんの「一隅を照らす」に、私たちはとても感銘を受けていたからです。地区協議会の前年、早速こちらの思いを伝えましたら、佐藤さんは快諾してくださり、鎌倉の自宅に打ち合わせにぜひお越しください、とのことでした。

観音寺からお宅を訪問、ロータリー談議に花を咲かせ、あつという間の四時間。鶴岡八幡宮や上野で接待を受け、以後も何度か打ち合わせでお会いすることに、その高邁な精神に心酔しました。地区協議会では職業奉仕について講演されましたが、四国の魅力「巡礼」と感じられたようです。参加者も深く感銘を受け、その縁で、当地区のIMや地区大会などにも出席されるようになりました。

佐藤さんは〇五年五月、台湾と日本の青少年

交流事業を自らの企画で実施。日台から多くのバスターガバナー、米山学友や学生、会員が参加して盛大に行われ、李登輝元総統にもお目にかかりました。〇六年の米寿のお祝いにお招きいただいた際には、ご祝儀は辞退とのことでしたが、佐藤さんの会社の新社屋の写真と地区協議会時のご夫妻の写真をラベルにした紅白のお酒を三五本贈呈。大変喜ばれ、私たちにも筆舌に尽くせない喜びとなりました。このように、佐藤さんとのつながりで、さらに人の縁や、人生経験が広がりました。

会社の工場の敷地から幅二メートルを歩道として提供したり、障害者の仕事場にとパン工房を無償提供するなど、ご職業でも佐藤さんのロータリーの精神を随所に垣間見ました。〇四年から亡くなられた〇八年までの五年間という短いお付き合いでしたが、私には人生最高の宝物となりました。佐藤さんが残してくださった「ロータリーとは人と人の間の美学」、また経営では「大道無難」の言葉を座右の銘として、しっかりと心に刻みたいと思います。

忘れ得ない思い出の人であり、今後も心の中に生きる、私の人生最高の師である佐藤さんと巡り会えたことに深く感謝するとともに、次代のロータリアンにもロータリーでの出会いの素晴らしさを伝え、つないでいきたいと思います。佐藤千壽さん、ありがとうございました。合掌。

(第二六七〇地区 香川県 不動産業)

※編集部より「一隅を照らす」は『友』二〇〇二年四月号縦組み②③④⑤⑥⑦⑧、二〇〇四年第二六七〇地区地区協議会講演「巡礼」要旨は〇四年七月号縦組み④⑤⑥⑦⑧に掲載しています。



ろい、その日を「ロータリーデー」と定めるにふさわしい内容となった。

直ちに現地の事前調査を実施し、神社や鳥居の修理や塗装、参道の補修や雑木の枝打ち、トイレ周辺の草刈りや清掃など、作業内容や方法をきめ細かく確認。資機材の調達、さらには作業をスムーズに進めるための班分けやリーダーの選任なども行った。準備万端、後ははやる気持ちを抑え、当日の好天を祈るばかりである。

二〇一七年八月三十一日、例会終了後の午後二時半、二隻の渡し船に分乗して地ノ島に降り立った。参加者は神社、鳥居、参道、トイレなどの担当部門に分かれ、汗だくになりながら、予定の作業に懸命に取り組んだ。

何のトラブルもなく順調に作業が進み、約三時間後には神社周辺は見違えるほどきれいな景色に生まれ変わった。太陽が西に傾き始めた頃、ピカピカになった神社を後にし、渡し船に心地よく揺られながら帰路についた。

今回のロータリーデーは、地域や外国の人々と有意義なイベントを催し、互いに良好な関係を築きつつロータリーをよく理解してもらうという意味において、またとない機会となった。参加した米山奨学生たちは、SNSで母国をはじめ内外に活動を発信したい、とまで約束してくれた。

翌週、熱心に取り組んだ「地ノ島クリーンアップ作戦」が地方紙の一面を大きく飾ったが、みんなの願いを込めた地ノ島への小さな懸け橋が有田市活性化への一助となれば、これに勝る喜びはない。

(第二六四〇地区 和歌山県 婦人科医)

## 二〇〇〇回記念例会が 気付かせてくれたこと

千葉西 大森 薫

二〇一七年二月一六日の例会をもって、千葉西RCが創立してから二〇〇〇回目という、節目の例会を迎えることができました。当日は忘年家族例会が重なったのですが、これも非常に珍しく、めでたいことだと思います。今回、私がこの記念例会を迎える会長だったのは偶然ですが、光栄なことと受け止めています。

また、プログラム委員長から「この例会を祝い、その意義をみんなで分かち合いませんか」という意見がプログラム委員長から出たことも、非常にうれしかったです。プログラム・親睦・SAA各委員会などから多くのアイデアが出ました。そして、一五〇人以上の参加者の集まる忘年家族例会の中で、記念例会を祝うことができたのです。

千葉西RCは一九七六年一月二〇日に創立。約四二年の歳月が流れています。クラブの中には、創立時にはまだ生まれていなかった会員も所属しています。非常に長い歴史を感じます。

この長い期間、どうして続けてこられたのかと振り返ってみますと、それは「目に見えないクラブ内の信頼関係」にあるということに尽きるのです。会員一人一人の心の中に「人は決して一人ではない！一人にはさせない！」という風土を諸先輩方が植え付けてこられたからではないかと思っています。

ロータリーはこのクラブも人間関係を非常



互いの信頼、思いやりの結晶で迎えた2000回例会

に大切に考えますが、当クラブでも昔から仲間への声掛けがよくあったと記憶しております。常に連絡を取って「みんなで一緒にやりましょう！一丸となって活動しましょう！」という風土。いわゆる、ロータリー精神がありました。毎年奉仕活動とクラブ運営には、仲間を大切にし、自分中心の考え方を捨て、高邁なロータリーの奉仕の理念に向かって心を一つにしよう、という風土がありました。この風土は会員の家庭や職場でも同じだったと思います。いつも仲間や友人や家族を見ている。「決して一人にはさせない」。だから多少の意見の食い違いがあっても離れることなく、続いてきたのではないかと私は思っています。互いに信頼し合っている思いやり、支え合って生きていこうという奉仕の理念に賛同した人たちの集まりなのです。

ロータリアンと家族とが「いつも一緒だよ」





昔からアゴ（トビウオ）を使い、一般家庭をはじめ料亭や旅館で食されていました。熱々のご飯の上にアゴのそぼろの入ったトロロ汁を掛け、アゴ団子をおせてよくかき混ぜ薬味をトッピング。少々のアゴだししょうゆでいただきます。

古安 正好（島根県・松江しんじ湖RC）

## わがまちの味 松江 アゴのときくずし

ファム君は二〇一二年四月から二年間当クラブが世話クラブになり、米山奨学生として勉強に励んでいました。月に一度は例会に出席し、あいさつや歓談で会員の皆さんに近況報告。卓話もしてくれました。そんな真面目で頑張り屋の彼は会員からもかわいがられ、好青年の評価を得ていたと思います。

彼の夢は、将来ベトナムに日本のような新幹線を作るプロジェクトに参加し、母国に貢献すること。そのために日本に留学し、新潟県の長岡技術科学大学・大学院に進学。卒業後はJRの関連企業に就職し、夢の実現に向けて日々頑張っています。

経済面で親に頼らず、アルバイトを掛け持ちしながら苦勞して勉強に励んでいました。「米

山奨学生となり、奨学金を受けることでアルバイトの時間を減らし、その分勉強に集中できたことに心から感謝しています」と折に触れ、私に話してくれました。そして、「自分の人生の目標は、いつか日本とベトナムの懸け橋になること。両国の役に立ち、少しでも恩返しができる」とも言います。

私は思います。ファム君のような、親孝行で国を思い、優しさと感謝の気持ちを持つ好青年が育つベトナムの未来は明るく、素晴らしいと。留学生を受け入れ、その未来の手伝いができる米山記念奨学事業の意義と貴さを改めて実感することができた、三泊四日のベトナム結婚式の旅でした。

（第二五六〇地区 新潟県 鉄骨建築）

## 有田市の活性化に 米山奨学生も一役

有田 成川 守彦

有田市の沖合約七〇〇メートルの紀伊水道に、「地ノ島」という島が浮かんでいる。今となつては何の変哲もない無人島だが、縄文時代の古代遺跡が発見されたり、紀国屋文左衛門が江戸へ向かう折、境内の井戸水をくんだと伝えられる初島神社があるなど、市の歴史を探索する上で大変貴重な遺産とされている。ただ残念なことに、島は現在、市で唯一の海水浴場がある程度で、近畿圏の観光スポットとしての知名度は、決して高くない。

そうした中で、有田市では「活力あるまちづ

くり」を目指す重点施策の一つとして、この地ノ島が浮かぶ海、有吉佐和子の小説の舞台となった有田川、そして紀州みかんの山並みを東西につなぐ、新たな観光資源の創出に取り組んでいる。有田市の良さを知ってもらいたいのは私たちも同じだ、という思いから、有田RCでは手始めに「地ノ島クリーンアップ作戦」の実行に動いた。まずは市役所、商工会議所、観光協会、地元紙などに協力を呼び掛け、参加の快諾を得た。

その後、意外な提案を受けた。当クラブが支援する米山奨学生の董涛君から「ぜひこの活動に加わりたい。地区の他の米山奨学生にも参加を呼び掛けたい」。何とも琴線に触れる申し出ではないか。こうして米山奨学生一〇人も加わり、あつという間に参加者五〇人の名簿が出そ



入念な準備のおかげで順調に作業。鳥居もピカピカになりました





写真上：例会前に自ら通信を配るリヤン君 下：『リヤン通信』第5号表紙。リヤン君の近況、一緒にテーブルの皆さんからの一言など、盛りだくさん

彼の愛称は「リヤン」。月に一度、例会に出席してくれているのですが、一〇〇人を超える会員と交流するには時間が限られます。

そこで、リヤン君とクラブ米山奨学委員会とが協力して、『リヤン通信』を毎月発行することになりました。目的は、米山記念奨学制度について会員の理解を深めることと、米山奨学生と会員との交流のきっかけづくり。内容は自己紹介に始まり、普段の生活や日本に来て驚いたことなど、リヤン君に関わる記事を主題にしています。インドネシア語入門、インドネシアと日本に関する記事に加え、例会で一緒にテーブルになった会員との写真と、その会員たちのコメントを次号に掲載するなど、試行錯誤しながら

編集しています。

できあがった通信は、リヤン君自身が例会場で会員に配っています。リヤン君が「チーズケーキが好物」と書いたら、パティシエの会員がチーズケーキを作ってプレゼントしたり、別の会員は「こんなことで困ったら私のところにおいで」といったコメントを送ったりと、通信をきっかけにして、米山奨学生と会員との交流が少しずつ増えてきました。

屈託のない笑顔の好青年、リヤン君が『リヤン通信』を通して少しずつクラブに打ち解けてきたようです。将来は、両国の懸け橋となってくれることを期待しています。

（第二六五〇地区 滋賀県 不動産鑑定士）

## ベトナムと日本の 懸け橋に

三条北 米山 忠俊

二〇一七年一〇月、ベトナム出身の元米山奨学生ファム・フーン・ヴァン君から、母国での結婚式に招待され、妻と二人で出席してきました



真面目で頑張り屋のファム君の晴れ姿。お幸せに！

た。日本からはファム君の会社の同期入社の子年五人と一緒に、心強く大変楽しい旅になりました。二二日の結婚式当日の午前中は、花嫁さんの実家で、日本という婿入りの儀式があり、午後からファム君の実家で結婚式が盛大に行われました。挙式披露宴には、午前中は約三〇〇人、午後には約二〇〇人の招待客がおり、お酒に料理、音楽と一日かけての祝宴は、ながら村祭りのようなものでした。

ベトナムの皆さんの温かい歓迎を受け、見るもの聞くもの味わうもの、全てが忘れられない思い出になりました。当日、妻は和服で出席したのですが、現地の人たちは日本の着物姿を見るのが初めてだったようで、特に女性の視線を集めていました。日本への親しみと、日本の伝統文化を知ってもらうのに一役買ったようです。



# 友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

## 燦々奨学生と ホームカミングナイト

高知 川崎 卓巳

高知ロータリークラブ（RC）は、二〇〇七―〇八年度から、地元高校から地元大学へ進学した学生を対象とした「燦々奨学生教育支援事業」を始めました。一学年二人程度、大学在学中の四年間、毎月一万円を支給する返還不要の奨学金制度です。

きっかけは、高校教育に携わる会員からの「米山記念奨学金も素晴らしいが、経済的理由で大学進学を断念する、優秀な地元の高校生への支援ができないか」という提案でした。こうして、クラブ創立七〇周年記念事業として「燦々基金」を設立。月一回、会員一人につきワンコインの寄付で継続的に財源を確保し、高知県内の大学への進学という高校生の夢をかなえる一助とし



燦々奨学生とロータリー財団の奨学生。共に楽しみました

て、当クラブ独自の教育支援事業を開始しました。例会時に寄付する奉仕の気持ちは奨学金という形で、一〇年間に一四人の学生へ渡り、うち七人は卒業し、実社会で活躍中です。夜間例会などの節目には奨学生にも参加してもらい、多くの会員が甥や姪に会うかのように楽しみにしております。

「さんさん」は、国内三三番目に創立の当クラブとは誠に縁が深い名称です。毎月開催されている親睦ゴルフも「三三三」。同じ数字が十二個も並ぶ「地球三三番地」（高知市内にある東経一三三度三三分三三秒、北緯三三度三三分三三秒の地）のモニュメントを一九六二年に建立し、毎年行事を行っているのも当クラブです。創立八〇周年の今年度は、この事業をさらに

充実させることをクラブの総意で確認しました。創立八〇周年記念式典は川添昇前会長、高村楨二会長、土本昭雄実行委員長の下、入念に準備を重ね、昨年一〇月七日に開催。現会員九六人はもちろん、転勤などでクラブを離れた元会員三九人、柳澤光秋ガバナ―、高知第一・第二分区の会長、幹事の参加も得ました。

その際、「ホームカミングナイト」も開催。二〇一五年に続く二回目、元会員を創立夜間例会に招待する催しです。今回は燦々奨学生二人、ロータリー財団奨学生一人も参加。学業や将来の夢などを聞くことができました。さて、高知では宴会を「おきやく」と言います。おきやくでは、乾杯直後に返杯がスタートします。熱燗の緑色の一合瓶と杯を両手に、初対面でも「まずは杯から」。これが土佐、高知流の親睦で、会場内では杯を酌み交わし、旧交を温める姿が随所で見受けられました。

燦々奨学生教育支援事業やホームカミングナイトとともに、これらの取り組みを継続し、今後も奉仕と親睦の理念を継承していきたいと考えています。

（第二六七〇地区 高知県 食品サービス）

## 米山奨学生自ら編集・ 発行！『リヤン通信』

大津 村木 康弘

今年度、大津RCは、インドネシア出身の留学生で米山奨学生、アドリヤン・サプトラ君の世話クラブを務めています。





富山みらいロータリークラブ  
THE ROTARY CLUB OF  
TOYAMA-MIRAI



業で有名な富山。池田屋安兵衛商店の店構えと置き菓。富山の駅弁、ますのすし

勉強するようになって。特に堀川小学校は英語の教育に熱心です」と西尾さん。実は先出の青山さん、その堀川小のPTA会長だ。

バヌアツは二〇〇六年、イギリスのシンクタンクなどから「世界一幸せな国」に選ばれている。交流の一環として、堀川小学校では「幸せって何だろう」と子どもたちに考えさせる授業をした。スポンサークラブの富山西RCから移籍し、富山みらいRC創立会員でもある、道路舗装工事の朝日建設社長の林和夫さんも毎回バヌアツを訪問しているが、「以前はデコボコだった道が次に行くと舗装され、新しい車が走り、ケータイを持つようになりました。環境汚染も起きています。幸せって何だろうと思います」と話してくれた。

とここで、「幸せ」といえば、山の豊かな富山では海の幸も見逃せない。氷見の寒ブリだが、富山みらいRC会員で鮮魚卸の中村光男さんに配達の間に見せていただいた。「これは九キ口。そう大きくないね。これで三万円」。夜、富山市内の居酒屋で、地酒と共に脂が乗ってふりふりの寒ブリを熊谷カメラマンと食したが、あれは氷見ブランドだったのか……。

魚津市を本拠に鮭蒲など独自のなかまぼこ造りで富山県外でも知られる河内屋の河内肇さんも富山みらいのロータリアン。神奈川県出身で自動車のエンジニア時代に結婚した相手がたまたま河内屋先代のお嬢さんだった。魚津に移

住し、河内家に入ってかまぼこの仕事を一から覚えた。お嬢さんが高校二年生だった二〇一二年に一年間、

ニューヨーク州ロチェスターのビクター・ファントンRCに交換学生として派遣された。「その時、一人で国内線飛行機を乗り継いで空港に着いた娘を、夜中にもかかわらずホストファミリーの方々が温かく迎えてくれました。ロータリーのパッジの信頼度を体感しましたね」と言う。「その恩返しに」と、海外からの留学生が来日する際は毎回、空港に迎えに行くなど、留学生のお世話を積極的に行っている。

会員の国際交流では呉服販売のおおき社長の青木りえ子さんの活躍がある。二〇一五年の梶田隆章さんのノーベル物理賞受賞に同行し、妻の



橋本洋二さん



青木りえ子さん



河内肇さん



中村光男さん

美智子さんの和服の着付けをした。一六年韓国・ソウル、一七年アメリカ・アトランタの国際大会にも和服姿で参加している。

さて、会長の橋本さんはかばん製造のハシモト社長。小学生のランドセルのシェアでは全国で三本の指に入る。大学を出て大手チェーンスーパーでマーケティングを志したが、親に呼び戻され家業を継ぐ。「当時は中高生の手提げカバンが主力でしたが、自由化されるといって目を付けたのが小学生のランドセルでした。やはり子どもに「みらい」を託すビジネスですね。その橋本会長が掲げるモットーはと聞くと「ロータリーを楽しもう」です」だった。

縄跳び大会の二日後、昭和一二(一九三七)年竣工という富山電気ビルで夜の例会があった。型通りの議事が終わり、新年懇親会になった。今年のアトラクションは各委員会対抗のカラオケ大会。昼の顔とは違ってノリノリのはっちゃけぶりに、旅の人である取材の二人は目を見張る。まさに「ロータリーを楽しもう」だ。お開きに次期会長で内科医の河上浩康さんは、「私たちのクラブは楽しく風通しが良い。縄跳び大会の子どもたちの熱心な姿を見て、この子らが必ず希望の持てる社会をつくらなく、と思いました」と締めた。

岩田一平(いわた・いつべい)ジャーナリスト、歴史作家。アサヒカメラ、朝日新書編集長など歴任。近著に『欠点』を「長所」に変える就活力(サンマーク出版)がある。

熊谷武二(くまがい・たけじ)写真家。公益社団法人日本写真家協会会員。人物、歴史を取材テーマに、雑誌、出版物等に発表。写真集「神戸・消滅と再生」(講談社)。





富山みらいロータリークラブ  
THE ROTARY CLUB OF  
TOYAMA-MIRAI

富山城(右)、毎年9月の「おわら風の盆」祭りは全国からの観光客でにぎわう八尾の古い街並み(左上)、富山市内を走る路面電車(左下)



富山みらいRCは一九九七年創立で富山第二分区にある一〇クラブの中で二番目に新しい。現在七九人(うち女性一三人)。平均年齢五八歳強。

### 会員が自分の得意分野を生かして支援

校三年生までの児童生徒が立山三山の浄土山、雄山、別山を二泊三日で縦走する。それに同行するのだが、妻の生子さんは立山の山岳診療所に詰めていたことのある看護師さん。そんな実績が評価されロータリーアン配偶者／パートナー奉仕功労賞(二〇一三〜一四年)を受賞した。夫の亨さんは「タイのチェンライRCの唯一の日本人会員で、少数民族アカ族の就学・識字支援をしている原田義之さんの運動に共鳴しまして」と、ロータリーアンとしてアカ族への募金・支援活動にも奔走する。

を着て観戦、表彰式で児童に優勝カップや表彰メダルを贈呈した。中で一人紺色のジャージ姿だったのが戸田亨さん。大会主催側の富山市スポーツ推進委員としてのユニホームを着ていたのだ。制御盤配電盤製造業の戸田電気鉄興の専務取締役である。戸田さんは、富山みらいRCが支援する「元服立山登拝」のサポーターを夫婦で一六年にわたって引き受けている。越中富山では古来より元服を迎える男子が聖地・立山に登る習わしがあった。その伝統を引き継いだのが富山県護国神社の挙行する元服立山登拝で、毎年夏、男女問わず小学四年生から高

二〇〇九年、発

の会員たちが

の小学校と縁が

に、施設の近く

るのに資金援助

した。その折

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授

産施設を建設す

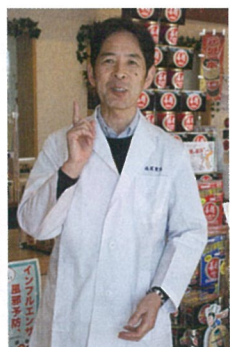
るのに資金援助

した。その折

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授



堀井光子さん(左)と橋敏枝さん



西尾公秀さん

業が、富山市立堀川小学校とバヌアツ共和国のホグハーバー小学校の交流の橋渡しである。バヌアツは日本の南東約六四〇〇キロメートルにある太平洋上の島国だ。もともと富山みらいRCとオーストラリアのセントホーストRCが姉妹クラブで、そこ

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授産施設を建設するの資金援助した。その折

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授産施設を建設するの資金援助した。その折

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授産施設を建設するの資金援助した。その折

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授産施設を建設するの資金援助した。その折

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授産施設を建設するの資金援助した。その折

がバヌアツのエスプリッツ・サント島に診療・授産施設を建設するの資金援助した。その折



堀井光子さん(左)と橋敏枝さん

西尾公秀さん

電用のソーラーパネルやパソコン、プロジェクトターなどを持参したのが始まりだ。

二年ごとに訪問し昨年で五回になる。最初から参加してきたのが富山みらいRC直前会長の西尾公秀さん。薬局経営オルタナティブの代表取締役だ。

「パネルの装置は分解して各人分担して携えました。それを配電盤の仕事をしている戸田会員が組み立てる。中古パソコンは無線パーツ(ＩＴ活用支援)の吉田大介会員が調達し、青山会員はソフトに強い、旅行はエヌトラベル社長の中井清志会員が手配……と、各自の得意分野を生かして支援してきました」と言う。トイレや水道(雨水を使っ

ている)などインフラはまだまだ整っていない地域だが、リサイクル事業のアール・タチバナ副社長の橋敏枝さんや機械器具製造の初音工業専務の堀井光子さんら女性会員も現地に行っている。

「互いの小学校の日々の様子をビデオで紹介し合い、英語の手紙の受け渡しをしました。以前は英語の文通は難しかったけど、小学生でも英語を



富山市庁舎展望台から見た町並みと立山

日、富山市中心部で積雪五一センチ、気温もマイナス六度を記録した。大阪からの熊谷カメラマンはJRの特急サンダーバードが遅れに遅れ、富山まで七時間余りかかった。東京発の記者は融雪設備が整った北陸新幹線のためか三分程度の遅延だった（その後、富山はさらなる豪雪にお見舞い申し上げます）。でも若い頃はこの山々が都会と富山を隔てているんだと思いました」と山田さん。東京の工学系大学を卒業してそのまま就職、数年を経て富山にUターンして父たちの事業を継いだ。

事前にぜひ取材を、と頼まれていたのが一日の富山市小学生なわとび交流大会だ。今年で一二回目。富山みらいRCの創立一〇周年記念事業として〇七年に同クラブ主催で始まった。当時、企画立案を推進した保険代理業のリスクマネジメントシステム代表取締役の岡崎稔さんは、「球技のボールを寄贈するような支援でなく、子どもたちの未来の健康を考え、一緒に汗をかくような事業をしようとなりました。最初は綱引き大会の案でしたが、綱引きだと一チーム五〇人くらいそろわないとできない。市内には人数が足りない小

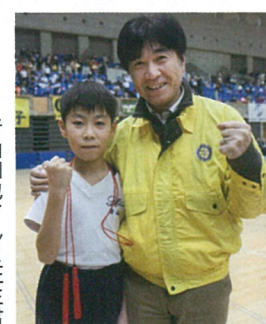


戸田亨さん



選手たちに声を掛ける山田直毅さん

規模な学校もあります。そこで、種目によっては一人から出られる縄跳び大会になりました」と振り返る。当初約六五〇人からスタートしたが、年々盛大に。今回は三二校の三〇六年生二一五〇人が参加した。冬季は屋外でスポーツがしにくい富山で、縄跳びはまたとない競技だった。第二回から富山市と同市スポーツ推進委員協議会が引き継ぎ、富山みらいRCが協賛している。大会パンフレットの裏が協賛金を捻出する広告ページで、同クラブ会員の企業名がずらり。



青山和也さんと旺生君



人）の三種目だ。予選九一チームから勝ち残った二〇チームが、富山市総合体育館で会場いっぱいに競う長縄決勝は壮観だった。二人の児童が高速回転させる長縄を飛び手の子どもたちが次々に飛ぶ。最初に飛んだ子はすかさず後ろに回る。飛び手は間隔を空けず8の字の列を描いてグルグル回る。優勝したチームは大会新記録の八七九回。一秒間に二・九回だ。

富山みらいRC会員でコンピュータシステム



吉田大介さん（左）と岡崎稔さん

開発のエクシース社長の青山和也さんの次男、堀川小学校五年生の旺生君が二重跳びで参加した。二分間に二二三回跳び、一五四人中一八位。六年生と合同の種目なので大健闘。親子でガッツポーズをとつてくれた。

会長の橋本洋二さん以下、富山みらいRC会員はそろいの黄色いウインドブレーカー



# 子どもたちに未来を託す活動 絶景の山を望む幸多きクラブ

文・岩田一平 写真・熊谷武二

子どもたちの健康を考え、  
一緒に汗をかくような事業をしよう

絶景かな、絶景かな。目の前に三〇〇〇級級の  
立山連峰や、剣岳はじめ雪を頂く北アルプスの  
山々が目を浴びて輝いている。ここは「立山あお  
ぐ特等席」と名  
付けられた高さ  
七〇級の富山市  
庁舎展望台であ  
る。麓に人口約  
四一万八〇〇〇人  
の富山市の町並み  
がびっしり広が  
る。三六〇度の眺  
望で、北西には富  
山湾。湾を挟んで  
黒々とした能登半  
島が見える。



「この季節、立

山がこんなにくっきり見られるなんてめったにあ  
りませんよ」。愛車の四駆スバルのハンドルを握  
りながら、富山みらいロータリークラブ（RC）  
の幹事・山田直毅さんが言った。塗料販売の共栄  
商会社長である。本稿の掲載は四月号だが、われ  
われが富山市に入ったのは、一月一二日夕。この

夜間例会は富山市のランドマーク的存在、1937(昭和12)年竣工の富山電気ビルで開かれた





のです。無論、言語障害があったり、数列に弱かったりします。でも、違う知性や知能がちゃんと育つのです。

そのまま、中学も高校も身障者学級に行つて、今の支援学校に進みました。翔子はご覧の通り、とても明るい性格、天真爛漫てんぜんらんまんなところを持っていますので、身辺にはいろいろな事件は起きましたが、全てうまくいきました。先生からも、「翔子ちゃんがいるとクラスが明るくなって、助かりましたよ」と言っていたきました。

そして、一八歳で卒業します。卒業の時に、翔子たちはどこかに属さなければなりません。知的障害者を家族が一人で抱えるのは大変ですので、社会的に就職をするか学校に行くか、作業所へ行くなど、選択肢はいろいろあります。

翔子は当時、「仕切り屋翔子」と呼ばれていたほど、とても仕切り上手で元気な子でしたので、知的障害の方が集まつてお給料をもらう、作業所が翔子には良いかな、と思い作業所を選びました。とても良い作業所を三つくらい見て選んだのですが、入所が決まった説明会の日に、ちょっとした手違いがあり、私はもうその作業所には行けないと思うようなことが起こりました。こうして、また苦しい中で、また引きこもってしまいました。

そんな時、翔子の父親の言葉を思い出したのです。彼女が一四歳の時、私たちの目の前で突然、心臓発作を起こし、そのまま意識が回復せず亡くなってしまったのですが、彼は翔子の書の力を認めていて、「二十歳になったら個展を開こう」と言っていたことを、悲嘆に暮れていた時に思い出しました。

初めて、私は翔子に大きな字を教えて二十歳で

二〇の、良い作品をつくり、生涯で一度と思い、派手に銀座で個展と祝賀会を開きました。私の悲しい気持ちを払うために開いたこの個展が、メディアに取り上げられたのです。

多くのお客さんがみえました。皆さんが翔子の作品の前で泣かれるので、どうして? と思います。その答えが、先ほどもお話をしましたが、三つの理由、純度の高い魂と優しい心と生き方の三つがその書を成したから、です。

特に「純度の高い魂」とはどういうものかと申しますと、翔子は学歴社会からも外れており、競争心というものが全く身に付かなかったのです。競争心がないということは、人を羨うらやんだり、妬ねたんだりすることがありません。社会の構造が分かりませんので、偉くなりたいたいかお金持ちになりたいとも思わないので、世俗に対する欲望が全くないのです。

何にも欲望がない無心の心には何が宿るかと言うと「皆に喜んでももらいたい」ということなのです。社会に属さず、何にも汚よごされない世界に、翔子は生きています。

私たちの心はいつの間にか曇っています。勉強をして良い成績を取って良い学校に行つて……翔子にはそれがなくて、全く社会から解放されているところで、何か、世界の本当のものとつながっている気がします。

戦争や競争や戦いはたぶん、人間のつくり上げた社会がつくってしまった幻想であつて、そういうものが身に付かない翔子は、本当に平和のうちに生きています。ですから、本当はこの世界というものは平和であり、調和が取れているのだと思えるのです。

また、翔子はいつも恋をしているのですけれども、中学へ入った時、うれしそうに帰宅するなり「お母さん私、高橋君が好きだ」って言うのです。翔子は自分が相手を好きであれば、相手も同じ度合いで翔子を好きなのだと思うので、いつも誰とでもラブラブで、この間まではマイケル・ジャクソンと結婚していました。今は別の子を好きになっています。「唯心偶」、心が決めるという生き方はとても幸せです。

二〇一五年三月に、翔子はニューヨークの国連本部でスピーチをしました。日本とアメリカとカナダと中国の三〇歳のダウン症の代表が集まつてスピーチをしたのです。他の国の人たちは先生や親が付き添ったのですが、その時のテーマが「家庭の援護と自立に向けて」でしたから、私は翔子を一人で出しますと言って出しました。

約一〇分のスピーチを見事にやつてくれました。私は涙が止まりませんでした。翔子の病気を告知された日から付けた日記の最初のページに、「今日、私は世界で一番悲しい母親だろう」と書きました。ところが三〇年たつて、翔子が目の前でスピーチをしている姿を見て、「翔子、お母さまは今、世界一、幸せだよ」と言えました。

私が三〇年間、翔子を育ててきて感じることは、闇の中にこそ光があるということです。この、闇の中に光があるというのは、苦しくなった時にいつも思ったことです。

ですから、生きてさえいれば絶望はない、と本当に心から思います。「闇の中には光がある」を、講演の結びの言葉にしたいと思います。

(ホスト 境港RC)



ですね。結局、人間は簡単に死ぬことができないのだ、ということも分かりました。

翔子がクラスにいますと、成績が良くない子たちは落ち着くそうです。いざじりになると、普通の健康なお子さんは誇りも傷つくし、お母さんやお父さんは許してくれないかもしれない、と思ったりするのでしようが、翔子は喜んでじりなわけです。ですから、本当にかわいがられ、周囲の子ととてもうまくいきました。

小学三年生までは、本当に幸せに過ごしましたが、四年生になる時、担任の先生に呼ばれ「金澤さん、もう普通学級で翔子ちゃんを預かれない」と言われたのです。

この学校には、身障者学級や特殊な学級がないので、遠くにある学校に移らなければならないのです、と言われました。今ここで、こんなにうまくいっているのに……。やはり障害者はどんなにうまくいってもだめなのかと、やり場もなく非常にショックでした。

## 闇の中にこそ光がある

そして、私の悪い癖なのですが、翔子を次の学校に通わず、周囲をボイコットしてしまつたのです。けんかをして学校を辞めていますから、友達もいなくなつてしまいました。その時は専業主婦状態でしたし、外との交流がなくなり、本当に苦しい思いをしました。学校に行かないので何もすることがない。苦しい中で私は翔子に、大きい『般若心経』の作品をこの機会に作らせてみようと思ひました。

翔子に朝から晩まで般若心経を書かせました。私はもう、台所から箸箸を持つたまま、翔子が書いているところまで来て「どうして真つすぐ書けないの」とか「ばかだね」とか、朝から晩まで怒って教えていました。

翔子はとても良い子ですから、「やめて」とか「もうやりたくない」とか、決して口にしません。とにかく、黙って泣きながら書くので、紙に涙がはらはらと落ちました。

一行書くと、乾かすために休むのですが、そのたびに翔子は、「お母さま、ありがとうございます」と言っていました。感受性が強い子ですから、母親が苦しんでいるというのを分かつて、どんなに苦しくても嫌だと言えなかったのです。

いまだにその時の般若心経には涙の跡が、化石のように残っています。「涙の般若心経」と言われ、一番人気がある作品です。翔子はそんなふう泣きながら、叱られながら一〇組くらい書きました。お経ですからきちんとした字で書かせましたので、一〇組というのだいたい三〇〇〇字です。小

学四年生の子に、三〇〇〇字の難しい字は過酷だったと思います。けれども翔子は、よく付いてきてくれました。

そんなことをしている間に、翔子はいつの間にか、書の基本ができていました。持久力も身に付きましたし、この時、書家としての力が付いたのです。結局、半年くらい学校に行かずに休んでいました。

とはいえ、学校に行かないことは許されませんから、半年くらいたつて、障害者学級のある、その遠い学校に行かせました。結果として、電車に乗ることを覚えましたが、足も強くなりましたし、寄り道もしたりして、とても楽しく学校に通いました。

その姿を見て、私は初めて間違っていたと気が付きました。私は翔子と、ずっと苦しんできたと思つていました。翔子はダウン症で生まれてきて、苦しかったと思つていました。けれども、翔子はダウン症であることを一度も嘆いてはいないし、苦しんでもいいのです。苦しかったのは、私の私なのです。翔子自身は、ダウン症でOKだった



■ 久が原書道教室主宰

金澤 泰子

一九四三年生まれ。明治大学卒業。書家の柳田泰雲・泰山に師事。八五年 娘・翔子が誕生し、ダウン症と診断される。九〇年 東京・大田区に「久が原書道教室」開設。『魂の書 金澤翔子作品集』二〇一二年、清流出版、『翔子の書 ダウン症の書家、金澤翔子最新作品集』二〇一三年、大和書房など著書多数。久が原書道教室主宰。東京藝術大学評議員。日本福祉大学客員教授。娘の書家・金澤翔子氏はNHK大河ドラマ「平清盛」のタイトル揮毫者。



人もいません。しかし翔子の書には、本当に多くの方が涙を流してください。これが何なのかずっと考えていました。

今、ようやく分かるようになったのですが、まず一つは、大きく魂の問題があるのでしょう。翔子はIQ（知能指数）が大変低く、二十二・四がいまだに分らないくらいです。その代わり、違う知性が大きく育っています。感性、感受性がとても豊かに育ちました。その心が書いた字を皆さんが「魂の書」と言ってくくださるので、これを魂と呼ばせていただきたいのです。

それと、翔子は実に優しいです。この優しさは、私たちが想像できないほどです。翔子たちのようなダウン症の人は、普通の方より染色体が一個多いのです。このために、私は長い間、二〇年も嘆いたり、苦しんだり、悲しんだりしてきましたけれども、実は、この一個多い染色体が、この不思議な優しさの正体なのだ、と分かってきました。

一般的にも、ダウン症の子がうまく育てば、とても優しいのだそうです。環境にもよりますが、生まれてから二・三歳まではとても優しいし、そのまま優しく育った方は本当に優しく、私たちの想像を絶するような優しさを持っているのです。この一個多い染色体がもたらした優しさがあるので、翔子の書からも優しさがもらえると、何か優しい気持ちになれる、と言っていただけなのでしょうね。

このような優しさと純度の高い魂と、もう一つ翔子は生きる達人、どんな時でも幸せなのです。本当に、はち切れるような幸せの中にいつもいます。私は書家ですからたくさん写経をしますが、『華嚴経』には「唯心偈」という「ただ心が決め

るんだよ、この世に起こることは全部心が作り出すんだよ」という言葉があります。

この「華嚴経唯心偈」は「百字心経」とも言う美しいお経で、私は何度も書写しています。何度も書いているのに、お経の文面だけではよく理解できていなかったのですが、翔子と暮らしていますと、その意味がよく分かりました。

ですから、私は今、この唯心偈のつとめた、唯心偈の哲学で生きているようなものですから、とても幸せです。唯心偈のように、心が決め、本当に豊かに生きています。

## あの子もお役に立てる 不要ではないのだ

ここで、翔子の生い立ちをお話しします。翔子は私が四二歳の時の初めての子どもです。良い主人がいて、欲しい物はほとんど手に入れ、やりたいうこともやって、とても幸せで、四一歳の時に初めてでたとえられた時には、体がほっと熱くなるほどうれしかったことを覚えています。

三〇年ほど前は四〇代での出産は、まだ珍しいことでした。これから生まれてくる私の子どもは日本一に育てようと思つて、本当に有頂天でした。意気揚々と出産したのですね。

しかし、生まれて五二日目にたぶん歩けないだろう、そしてダウン症であると告げられました。せっかく授かった子が知的障害だと言われ、とても苦しかったです。

今の医学ではダウン症は治りません。本当に苦しい中で、どうしようもない。神に祈るしかない、奇跡で治してくださいと、神なのか仏なのか分か

りませんけれども、ずっと祈りました。毎日祈っていましたので、ちょっと精神的に偏った世界に入らざるを得なくて、周りの人との関係も希薄になり、翔子と私は引きこもってお経を書いていた。

そんな中、近くの保育園に翔子を預かっていたことにになりました。小さい子もたくさんおり、先生も良い方で、翔子も喜んで通いました。小学校では普通学級に入っていたで、とてもうれしかったです。

でも、いざ学校に行ってみると、何をやっても翔子は最下位、ビリです。運動会の一〇〇メートル走などは、大差でゴールするのです。翔子はうれしそうにゴールを決め、テープを切っているのです。実は先生がもう一度テープを張ってくれて、それをトップだと思い喜んでテープを切っているのです。トップもビリも分からないので、そんなことがうれしくて、皆にかわいがってもらっていました。

しかし、教室を移動するための渡り廊下さえ、翔子は渡れませんでした。ですから、私は担任の先生に「先生、申し訳ありません。こんなに手数のかかる子をお預けしまして」と謝ったのです。すると、先生は「翔子ちゃんのいるクラスは穏やかになるし、優しい子が増えるから、いてくれて良いのよ」と言ってくくださったのです。この時初めて、「あ、翔子もいていいんだ」と思ったのです。それまでの私は、翔子を社会的見地から、生産性も効率性も全くマイナスでしかあり得ないと思っていました。二人で死のう、とさえ思っていました。日記帳の隅には克明な死に方が何通りも書いてあります。しかし、どれも実行できないの





写真提供：金澤泰子 翔子と共に 闇の中にこそ光がある

していつてくれたから、お金のことは心配ないのよ」と言っていました。

ところが一人暮らしを始めて半年後くらいに、翔子が私のところにやって来て、「お父さまのお金を全部見せて」と。いつの間にか、お金のこともおぼろげながら分かってきたのです。

おぼろげながらも分かれれば、翔子の場合、それはいずれ実現するのです。娘には生活費をどのように渡そうかと試行錯誤していたところ、翔子が「お給料」と言ったのです。席上<sup>きじょう</sup>揮毫<sup>きごう</sup>をするたびに一回五〇〇〇円という「お給料」をあげて、うまくいったら一〇〇〇円ずつ足していき、失敗したら減俸という協定を結びました。

翔子は今、自分のお給料で暮らしています。ダウン症や知的障害者と呼ばれる人の一

人暮らしや自立は、私も難しいと思っていたのですが、いざ試みてみしたら、実に素晴らしい力を発揮しました。親の庇護<sup>ひご</sup>、ある意味過保護でできないと思っていたことも、実は可能なのです。ぜひ、皆さまにも可能性を探ってもらいたいと思っています。

そして、もう一つ素晴らしいことが起きました。翔子の住む街の商店街は、シャッター街になり、暗い所になってきていました。そこへ翔子は、スーパーマーケットではなく、昔からあるお米屋さん、お花屋さん、お菓子屋さん、昔からある商店街で買い物をしているのです。

お菓子屋さんのおばあちゃんが「翔子は太陽だ」と言って、毎日待っていてくれるのです。八〇歳を過ぎた喫茶店のマスターからは、「翔子はこの街の誇りだ」と言われました。交番のお巡りさんに呼び止められ「翔子ちゃんは、この街に降りてきてくれた小さな魔法使いのような気がします。翔子ちゃんの魔法のついで、この街にキラキラした星を撒いてくれます」とまで言っていたきました。

ですから、寂れそうになった街に、ちよつと光が差しています。地域で育てた子を、その地域で自立させていただきました。

もう一つお話ししたいのは、翔子は大変不思議な子なのです。書家としての翔子ですから、書に關しての不思議をお話ししようと思うのですが、なぜか多くの方が、翔子の書に涙を流して感動してくださるのです。見ている書を前に涙が流れるのは不思議です。

私も五〇年以上、書道を行っています。残念ながら、私の書に涙を流してくれた人は今まで一



# ダウン症の娘と 共に生きて

今から5～6年前、ダウン症のことを分かっているのかどうか、恐る恐る聞いてみました。娘は「書道がうまい人のことかな?」と言いました。そのくらいにしか、思っていなかったのです。翔子にとって、ダウン症はちょっと苦しいことではなかったのです。

久が原書道教室主宰

金澤 泰子

Yasuko Kanazawa

## 純度の高い魂、心の優しさ、 生き方が感動を呼ぶ書を生む

娘の翔子も三〇歳を過ぎて、二〇一六年に一人暮らしを始めました。一人暮らしは大変なことです。翔子も今までいろいろなことをしてきましたが、今までで一番、大きな偉業と言いますか、私にとって一番素晴らしいことをしてくれたのがこの一人暮らしです。

実は、三〇歳になって一人暮らしを始めた理由は、彼女が皆さんの前で字を書いたりした時、「三〇になったら一人暮らしをします」と、宣言をしてしまったからなのです。

出産して翔子がダウン症と告げられた時から、私は自分が生きている間に、どうしてもこの子を一人で自立させなければいけないと思っていました。ですから、いずれ一人暮らしをしないといけ

ないとは思っていましたが、たぶん、一週間ぐらいで家に戻ってくるのでは、

と思っていましたし、部屋探しも大変でした。障害者にお部屋を貸してくれる大家さんを随分苦労して探しましたが、ちょうど、私たちが三〇年暮らした町の商店街の真ん中に部屋を見つけ、それを苦労して借り、自分で宣言した以上しなければいけないことと、思い切って見切り発車のようにスタートしました。あれから、翔子は自分の意思で実家に戻ってきたことは一度もありません。

毎日、一人でご飯を作って食べるというのが翔子の一人暮らしの定義らしく、仕事で呼んでも、必ず家に帰って食事を作って一人で食べています。それに、ちょっと翔子は好きな人ができたものですから……。お相手はまだランドセルを背負っている小学生なのですけれども。その子がつ来るか分からない、ということで、部屋はいつもしきれいです。

一人暮らしは大成。ただ一つの失敗は、太ってしまったことです。今、ダイエットを一生懸命しています。それ以外は本当に素晴らしい、この間も翔子のお家を訪ねましたら、ピンクのかわいい鉢植えのお花を育てていまして、いつからこんなにいい子になったのかなと。

皆さんに「ケアする人がいるでしょう?」と聞かれるのですが、本当に一人で暮らしています。不安だろうとか、できないだろうとかという思いは、親側の勝手な幻想でした。

一人暮らしを始めましたら、頭がさえてきました。お金のことなんて翔子には一生分からないだろう、と思っていました。彼女の父親は早くに亡くなっていますが、翔子にお金の苦労はさせたくないと思います。「お父さまがたくさん、おまえに残



4 月は母子の健康月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

## ダウン症の娘と共に生きて

◆ 久が原書道教室主宰 金澤泰子

 4  
65

## シリーズ クラブを訪ねて

子どもたちに未来を託す活動 絶景の山を望む幸多きクラブ

 9  
60

## 富山みらい RC・第2610地区

文・岩田一平 写真・熊谷武二

## 友愛の広場

燦々奨学生とホームカミングナイト

米山奨学生自ら編集・発行! 『リヤン通信』

ベトナムと日本の懸け橋に

有田市の活性化に米山奨学生も一役

二〇〇〇回記念例会が気付けさせてくれたこと

人生最高の宝物 佐藤千壽さんとの出会い

◆ わがまちの味

 13  
56

## 卓話の泉

司会のワンポイント

慢性腰痛について

 18  
51

## 私の一冊

茅ヶ崎 小澤雅彦／京都南 本間 満

 18  
51

## ロータリー 俳壇

◆ 稲畑 汀子 選

 20  
49

## ロータリー 歌壇

◆ 佐佐木幸綱 選

 20  
49

## ロータリー 柳壇

◆ てじま晩秋 選

 20  
49

## ロータリー・アット・ワーク

 22  
47

 世界遺産・宮島で留学生を招き  
国際交流

広島西ロータリークラブ

〈写真〉小松東／彦根／宮崎／広島西南／鳥栖／

藤枝南／高浜／佐土原／日立／横浜南／千歳／

大宮中央／大津中央／小松島／七尾みなと／加茂

タンザニア野球オリンピックチャレンジ

大阪北

ソフトボールで日本代表候補に挑む

多治見リバーサイド

子どもたちにスポーツのきっかけを

笠岡

豊山町子ども会リーダーシップ研修

名古屋城北

尼崎南ロータリー村 女性会員でグレードアップ

尼崎南

小学生と米山奨学生との国際親善交流会を開催

岩出山

無料合同相談会

相模原グリーン

その子の「生きる」を支える

大阪リバーサイド

◆ 内外よろず案内

## 声

1 月号の感想

 31  
38

表紙 横組み 「元氣な泣き声」

野中正視 (日本イラストレーター協会)

縦組み 「桜通り」 高桑幸次

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆ 本誌中の RC はロータリークラブ、RI は国際ロータリーの略です。

◆ 横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 45 ページにあります。

◆ 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。


 一般社団法人 ロータリーの友事務所  
 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階  
 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

 編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)  
 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

 ロータリーの友  
 Home Page  
 www.rotary-no-tomo.jp




A photograph of two men, likely Rotary Club members, participating in a cleanup activity. They are wearing white polo shirts with the Rotary Club logo and dark blue baseball caps. They are crouching on the ground, sorting through a cardboard box and white plastic bags. The background is a grassy field with trees.

# ロータリーと共に 変えていこう

世界中の地域社会で「よいこと」を行うために、会員が力を合わせるのがロータリー。私たちが住む街で、青少年の育成から起業家の支援まで、さまざまな活動を実施しています。「世界を変える行動人」である私たちが目指すのは、地域社会をもっと良くするために“ちから”をつなぐこと。Rotary.orgからあなたもご参加ください。

Rotary



世界を変える行動人

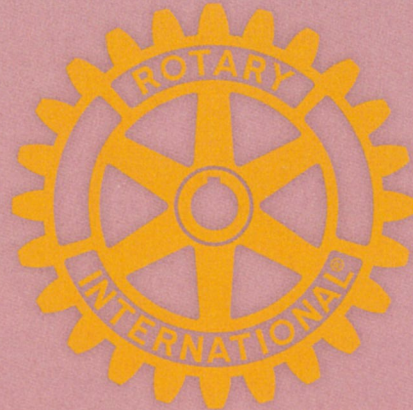


THE ROTARY-NO-TOMO

# ロータリーの友

4

2018  
APRIL  
VOL.66 NO.4



SPEECH

## ダウン症の娘と共に生きて

金澤 泰子

クラブを訪ねて  
富山みらいロータリークラブ

Rotary 